
福祉に関する アンケート調査報告

第5期日進市障害福祉計画などの策定や今後の施策推進の上での基礎資料

02一般用

2017



目次

本報告書をご覧になる前に	1
1. 掲載している情報について	1
2. 用語の定義	2
回答者について	3
問1 お答えいただくのは、どなたですか。	3
あなたの年齢・性別について	3
問2 あなたの年齢をお答えください。	3
問3 あなたの性別をお答えください。	3
障害などに関することについて	4
問4 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。	4
問5 身体障害者手帳の主たる障害をお答えください。	4
問6 あなたは、療育手帳をお持ちですか。	6
問7 あなたは、精神障害者保健福祉手帳（障害者手帳）をお持ちですか。	6
問8 あなたは、難病の診断を受けていますか。	6
問9 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。	6
問10 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。	7
問11 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。	7
問12 あなたは、介護保険の要支援または要介護の認定を受けていますか。	8
住まいや暮らし、就労などについて	8
問13 現在、あなたが一緒に暮らしている方はどなたですか。	8
問14 あなたは、日常生活で次のことをどのようにしていますか。	8
問15 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。	9
問16 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。	10
問17 あなたは、障害のある人が地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。	12
問18 あなたは、障害のある人が就労する上で、どのような支援が必要だと思いますか。	13
問19 親族や近所の方など、あなたの近くに障害のある人はいますか。	15
問20 あなたは、近くにいる障害のある人に対して、どのような配慮を行っていますか。	15
問21 あなたは、発達が気になる子どもや障害のある子どもが幼稚園、保育所、学校などに通う上で、どのような支援が必要だと思いますか。	16
相談相手などについて	17
問22 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。	17

- 問 2 3 あなたは、障害のことや障害福祉サービスなどに関する情報を、どこで知ることが多いですか。 19
- 問 2 4 あなたは、日頃の生活の中で、障害のある人に対する差別を感じることはありませんか。 21
- 問 2 5 どのような場面で差別を感じましたか。 21
- 問 2 6 あなたは、成年後見制度について知っていますか。 22
- 問 2 7 あなたは、日常生活自立支援事業について知っていますか。 22

その他の取り組みについて 23

- 問 2 8 あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動などについて、知っている活動はありますか。 23
- 問 2 9 あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動に興味がありますか。 24
- 問 3 0 あなたは、仮にボランティア活動に参加する場合、どのような活動に興味がありますか。 24
- 問 3 1 あなたは、今後、障害のある人に対して、どのような支援を充実した方がよいと思いますか。 26

自由記述 23

- ・ 保育園、幼稚園、学校における障害に対する支援や環境について。 28
- ・ 障害福祉サービスや行政の取り組みについて。 37

本報告書をご覧になる前に

1. 掲載している情報について

1) 一般用（日進市にお住まいの方と障害に関する手帳を所持されている方）

日進市にお住まいの方 494 名（無作為抽出）、障害に関する手帳を所持されている方 1,000 名（無作為抽出）を対象に、郵送調査法を用いて回答をお願いする方法でのアンケート結果です。調査対象と回収率の詳細は以下のとおりです。

2) アンケートの実施期間

平成 29 年 4 月 4 日から平成 29 年 5 月 1 日回収分まで。

3) アンケートの回収率

	発送件数	回収数	回収率
一般用	1,494	732	49%

○ 数値の見方は以下の点を参考にしてください。

- 1) 比率はすべて%で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。また、障害者手帳を2種類取得している市民もいるため、すべてが手帳ごとの回収数と割合が一致しないものもあります。
- 2) 表に使われている用語については、回答人数は「度数」として表示してあります。また、「システム欠損値」または「欠損値」は、回答が無記入または不明な回答の件数のことです。「割合」は、欠損値を含めた全体割合を示し、「有効割合」は、欠損値を除いた全体割合となります。「累積割合」は、有効割合を積み上げた数値となります。
- 3) 「総和の%」とは、全体の合計数値の中で、対象となる値の割合を示しています。
- 4) 回答率（%）は、その質問の回答者数を母数として算出しているものと、回答数を母数にしているものがあります。有効回答とした中には、年齢、性別、障害等の属性が不詳のものもあります。よって全体回答数と属性別回答数が一致しない場合もあります。
- 5) 集計上の実数は、度数において有効または欠損値として掲載してあります。割合の比率はこの件数を100%として算出しているものとグラフにおいてわかりやすくするため除いてあるものもあります。
- 6) 本報告書の表の見だし及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
また、自由記述は個人や施設等が特定される内容を除いて表記してあります。

2. 用語の定義

難病	筋萎縮性側索硬化症（ALS）やパーキンソン病など、治療法が確立していないなどの疾病をいいます。
発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠如多動性障害などをいいます。
高次脳機能障害	一般にケガや病気などにより脳に損傷を受け、その後遺症などとして生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされています。
成年後見制度	病気や障害などにより、判断能力が十分ではない人を保護するため、財産の管理や契約などに関して支援を行うことをいいます。
日常生活自立支援事業	病気や障害などのため、判断能力が十分ではない人の福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の手続きの支援を行うことをいいます。

障害などに関することについて

問4 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

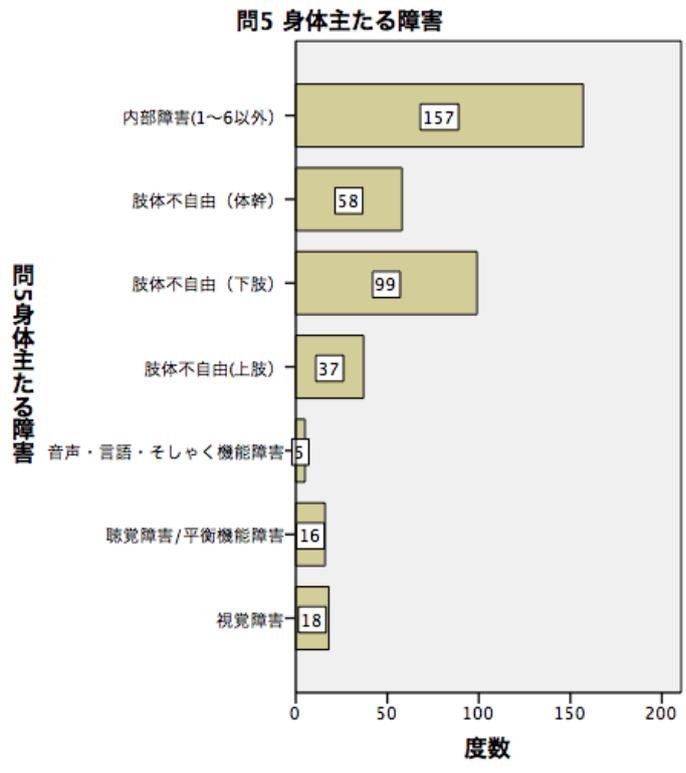
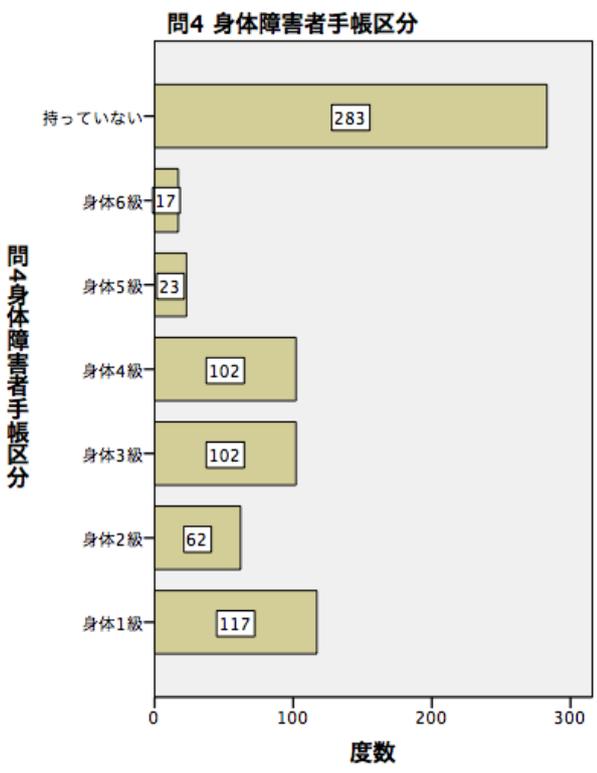
- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 4. 4級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 5. 5級 | |
| 3. 3級 | 6. 6級 | |

【問4で「1. 1級」から「6. 6級」と答えた方にお聞きします】

問5 身体障害者手帳の主たる障害をお答えください。(〇は1つ)

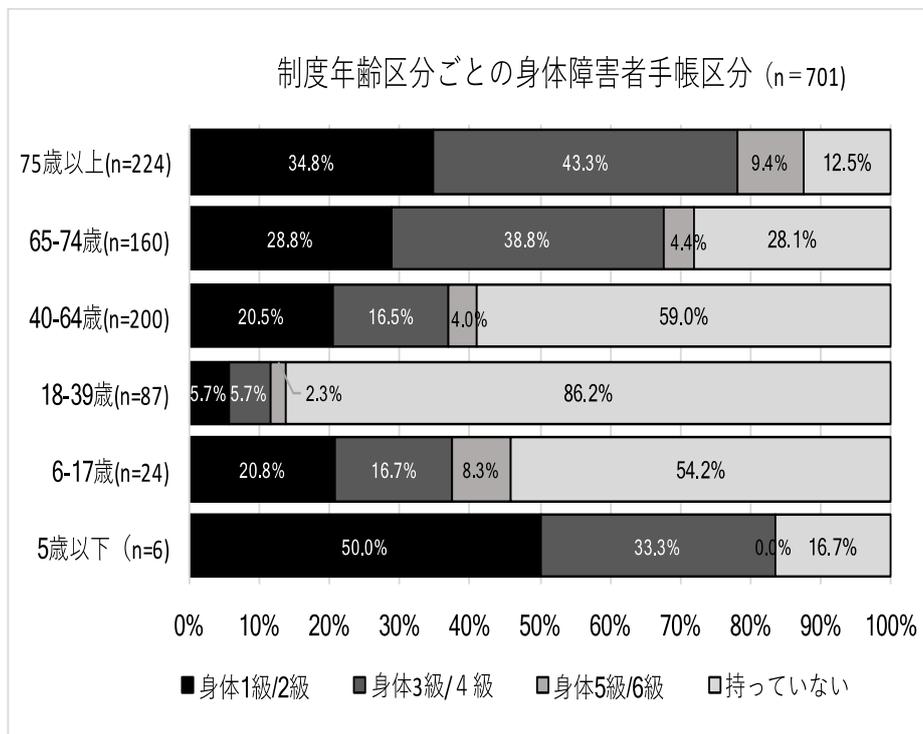
- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 視覚障害 | 5. 肢体不自由（下肢） |
| 2. 聴覚障害・平衡機能障害 | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害（1.～6.以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢） | |

身体障害者手帳は 59.9%の方がお持ちで、区分は1級が 16.6%と最も高くなっています。また身体障害者手帳の主たる障害は内部障害が 40.3%と最も高く、次いで肢体不自由（下肢）が 25.4%、肢体不自由（体幹）が 14.9%、肢体不自由（上肢）9.5%の順になっています。



身体障害者手帳の取得を年齢区分で見ると、65歳-74歳の方の71.9%、75歳以上の方の87.5%が身体障害者手帳を取得しています。

			制度類型区分年齢						合計
			5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	
問4 身体障害者手帳区分	身体1級	度数	3	3	3	25	28	55	117
		制度類型区分年齢の%	50.0%	12.5%	3.4%	12.5%	17.5%	24.6%	16.7%
	身体2級	度数	0	2	2	16	18	23	61
		制度類型区分年齢の%	0.0%	8.3%	2.3%	8.0%	11.3%	10.3%	8.7%
	身体3級	度数	1	2	3	19	26	51	102
		制度類型区分年齢の%	16.7%	8.3%	3.4%	9.5%	16.3%	22.8%	14.6%
	身体4級	度数	1	2	2	14	36	46	101
		制度類型区分年齢の%	16.7%	8.3%	2.3%	7.0%	22.5%	20.5%	14.4%
	身体5級	度数	0	0	2	4	5	12	23
		制度類型区分年齢の%	0.0%	0.0%	2.3%	2.0%	3.1%	5.4%	3.3%
	身体6級	度数	0	2	0	4	2	9	17
		制度類型区分年齢の%	0.0%	8.3%	0.0%	2.0%	1.3%	4.0%	2.4%
	持っていない	度数	1	13	75	118	45	28	280
		制度類型区分年齢の%	16.7%	54.2%	86.2%	59.0%	28.1%	12.5%	39.9%
合計	度数	6	24	87	200	160	224	701	
	制度類型区分年齢の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



問6 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1. A判定 | 3. C判定 |
| 2. B判定 | 4. 持っていない |

療育手帳は5.2% (34名)の方がお持ちで、A判定が1.2% (8名)、B判定が1.5% (10名)、C判定が2.5% (16名)を占めています。

問7 あなたは、精神障害者保健福祉手帳(障害者手帳)をお持ちですか。(〇は1つ)

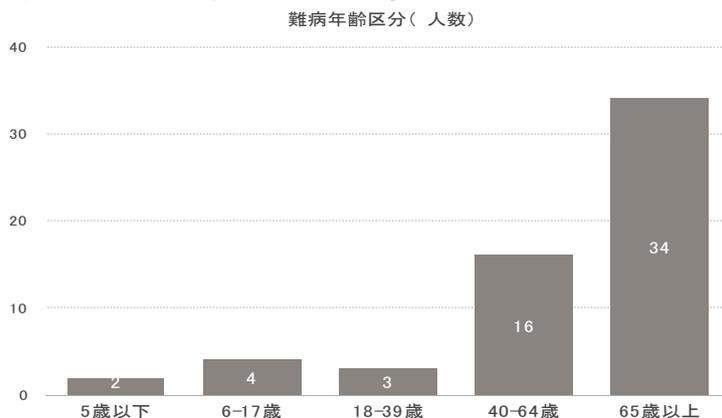
- | | |
|-------|-----------|
| 1. 1級 | 3. 3級 |
| 2. 2級 | 4. 持っていない |

精神障害者福祉手帳は16.2% (110名)の方がお持ちで、1級が4.6% (31名)、2級が7.9% (54名)、3級が3.7% (25名)を占めています。

問8 あなたは、難病の診断を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

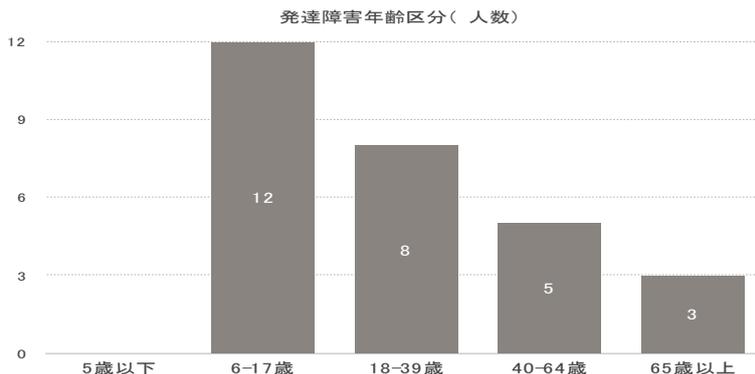
難病の診断は8.6% (59名)の方が受けています。



問9 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

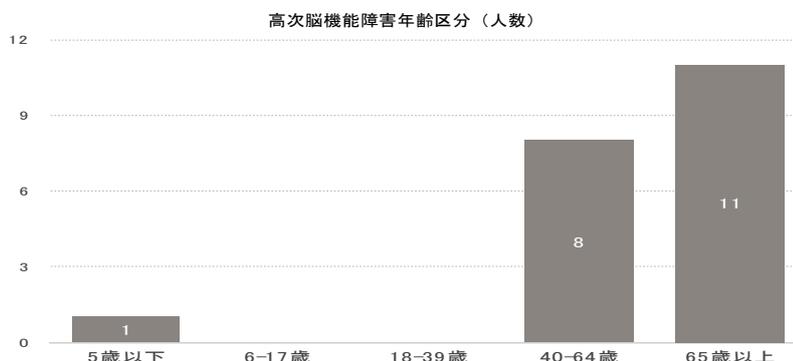
発達障害の診断は4.1% (28名)の方が受けています。



問10 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

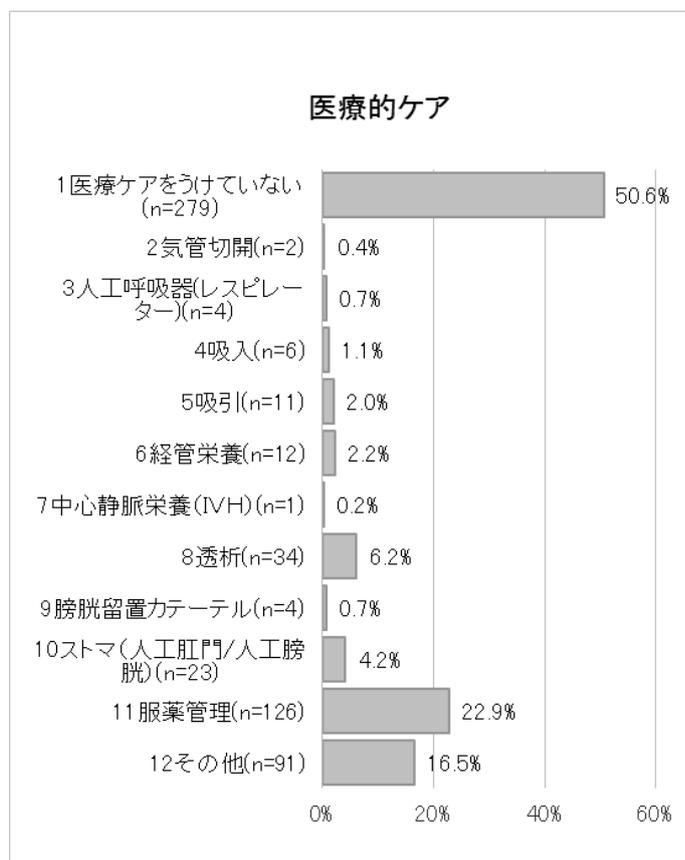
1. ある	2. ない
-------	-------

高次脳機能障害の診断は 3.0% (20 名) の方が受けています。



問11 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 医療ケアは受けていない	7. 中心静脈栄養 (IVH)
2. 気管切開	8. 透析
3. 人工呼吸器 (レスピレーター)	9. 膀胱留置カテーテル
4. 吸入	10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)
5. 吸引	11. 服薬管理
6. 経管栄養 (胃ろう・腸ろう・鼻腔経管栄養)	12. その他 ()



医療的ケアでは、「1. 受けていない」と回答した方が 50.6% を占め、受けている項目では「11. 服薬管理」が 22.9% と最も高くなっています。

- 問11 その他の記載内容**
- ・ リハビリ
 - ・ 心臓不整脈
 - ・ 弁まぐ症
 - ・ 整形外科
 - ・ サフィードネラトンカテーテル
 - ・ 血圧、中性脂肪
 - ・ 乳がんの為の化学療法ホルモン療法
 - ・ ペースメーカー
 - ・ うつ病
 - ・ 高血圧治療
 - ・ 花粉症
 - ・ 人工弁
 - ・ 糖尿病
 - ・ 大動脈弁狭窄症による心臓機能障害

問 1 2 あなたは、介護保険の要支援または要介護の認定を受けていますか。(〇は1つ)

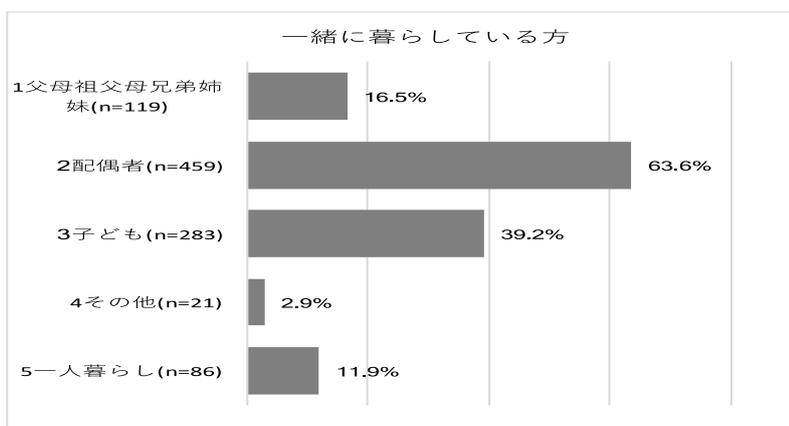
1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

介護保険の認定は 22.5% (157 名) の方が受けています。

住まいや暮らし、就労などについて

問 1 3 現在、あなたが一緒に暮らしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 父母・祖父母・兄弟姉妹	4. その他
2. 配偶者(夫または妻)	5. 一人で暮らしている
3. 子ども	



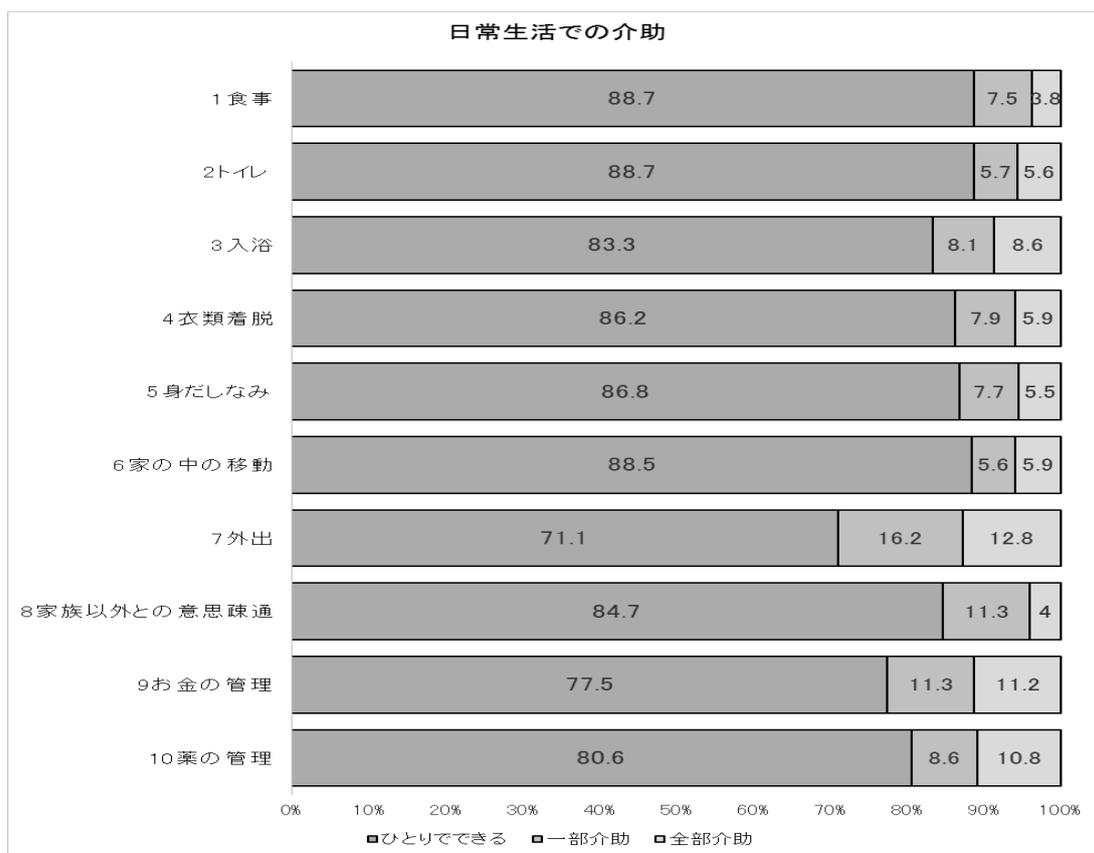
一緒に暮らしている方は、「2. 配偶者」が 63.6% と最も高く、次いで「3. 子ども」39.2%、「1. 父母祖父母兄弟姉妹」16.5% となっています。

問 1 4 あなたは、日常生活で次のことをどのようにしていますか。

(①から⑩の項目ごとに、あてはまるもの1つに〇)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ(歯磨き、洗顔、洗髪など)	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

日常生活で介助が必要かたずねたところ、「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答された割合は「7. 外出」で29%と最も高く、次いで「9. お金の管理」で22.5%となっています。



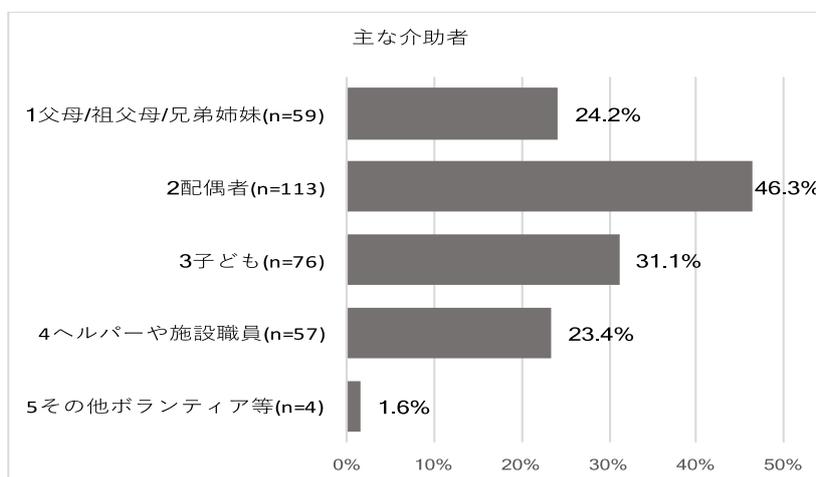
【問14で一つでも「2 一部介助」または「3 全部介助」と答えた方にお聞きします】

ここでの回答数は224名で全体（n=732）の33.3%でした。

問15 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者（夫または妻） | 5. その他（ボランティアなど） |
| 3. 子ども | |

一緒に暮らしている方が主な介助者となっています。



【問15で「1. 父母・祖父母・兄弟姉妹」「2. 配偶者」「3. 子ども」と答えた方にお聞きます】

問16 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 年齢(平成29年4月1日現在)

満		歳
---	--	---

② 性別(○は1つ)

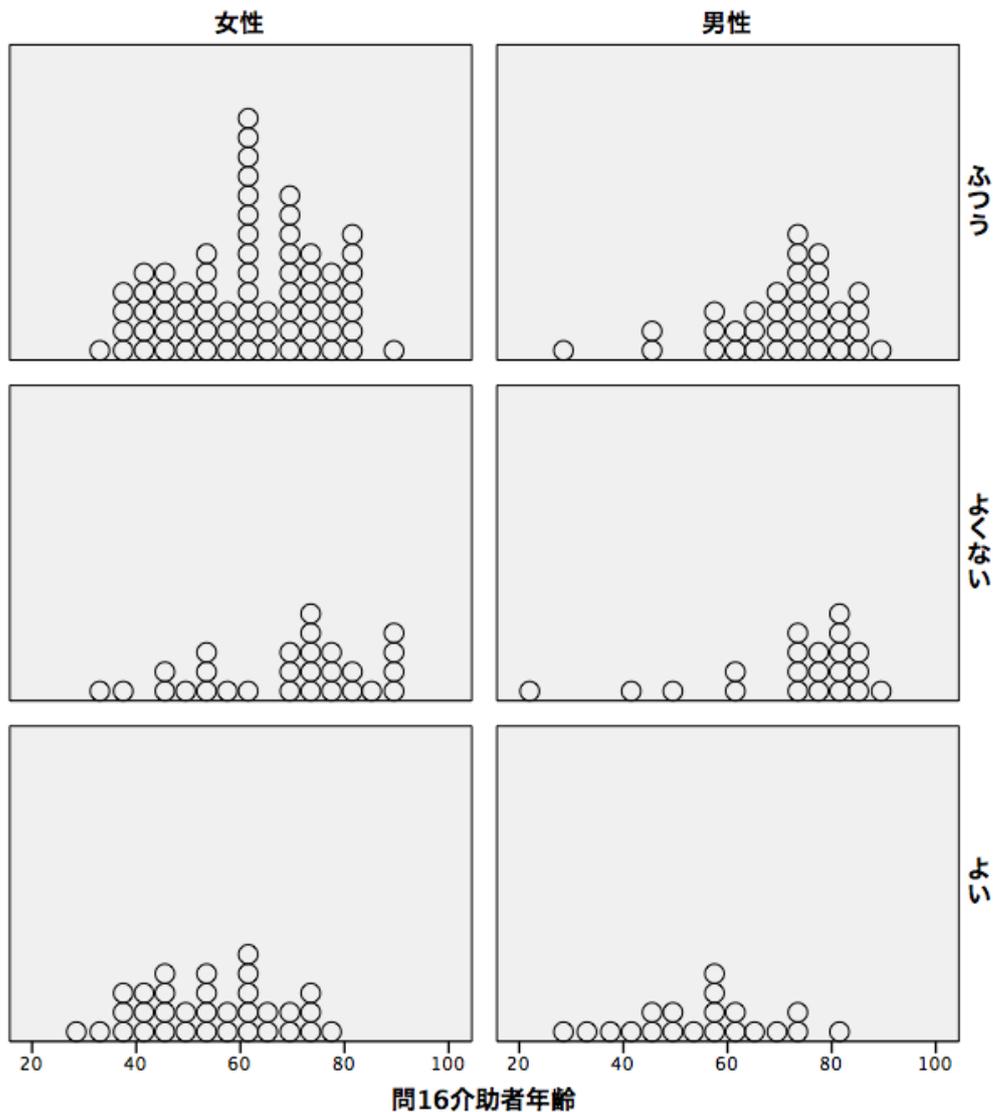
1. 男性	2. 女性
-------	-------

③ 健康状態(○は1つ)

1. よい	2. ふうつ	3. よくない
-------	--------	---------

介助者の健康状態が「3. よくない」と回答した方では、女性が 57.1%、男性が 42.9%でした。
また年齢区分別にみると「3. よくない」と回答した 75 歳以上の男性割合が高くなっています。

介助者の健康状



介護者の健康状態を男女別の年齢区分ごとにまとめたものが以下の表です。

介護者の健康状態と男女別の年齢区分

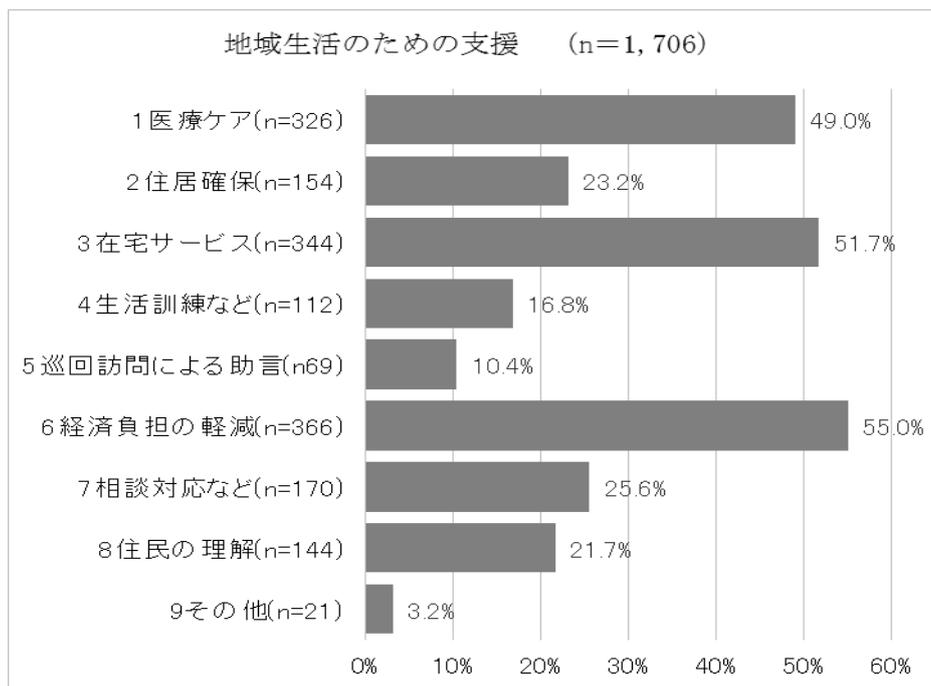
n=210

介護者年齢区分		男性	女性	合計
よい	18-39歳	度数 3 5.7%	5 9.4%	8 15.1%
	40-64歳	度数 12 22.6%	22 41.5%	34 64.2%
	65-74歳	度数 3 5.7%	3 5.7%	6 11.3%
	75歳以上	度数 2 3.8%	3 5.7%	5 9.4%
	合計	度数 20 37.7%	33 62.3%	53 100.0%
	ふつう	18-39歳	度数 1 0.9%	5 4.6%
40-64歳		度数 9 8.3%	38 35.2%	47 43.5%
65-74歳		度数 12 11.1%	15 13.9%	27 25.0%
75歳以上		度数 14 13.0%	14 13.0%	28 25.9%
合計		度数 36 33.3%	72 66.7%	108 100.0%
よくない		18-39歳	度数 1 2.0%	2 4.1%
	40-64歳	度数 4 8.2%	8 16.3%	12 24.5%
	65-74歳	度数 2 4.1%	4 8.2%	6 12.2%
	75歳以上	度数 14 28.6%	14 28.6%	28 57.1%
	合計	度数 21 42.9%	28 57.1%	49 100.0%
	合計	18-39歳	度数 5 2.4%	12 5.7%
40-64歳		度数 25 11.9%	68 32.4%	93 44.3%
65-74歳		度数 17 8.1%	22 10.5%	39 18.6%
75歳以上		度数 30 14.3%	31 14.8%	61 29.0%
合計		度数 77 36.7%	133 63.3%	210 100.0%

問17 あなたは、障害のある人が地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

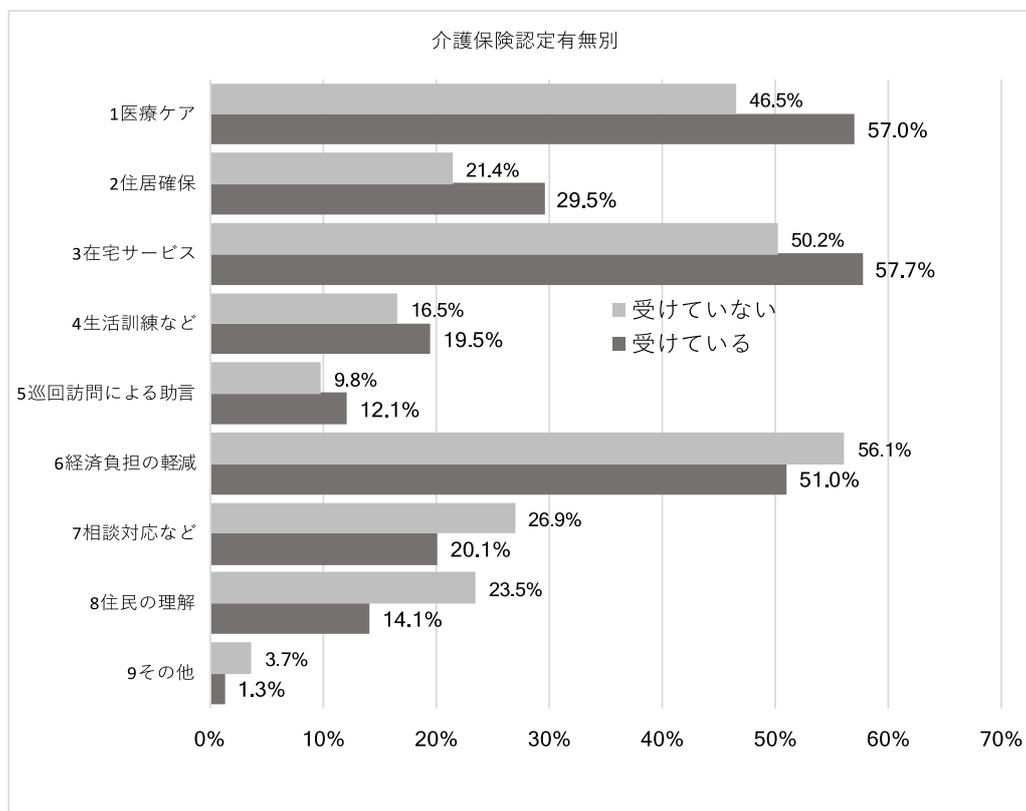
1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること
2. 障害のある人に適した住居の確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練などを行う事業所の充実
5. 巡回訪問による生活力を身につけるための助言
6. 経済的な負担の軽減
7. 相談対応などの充実
8. 地域住民などの理解
9. その他()

障害のある人が地域で生活するために必要な支援をたずねたところ、「6. 経済負担の軽減」が55%と最も高く、次いで「3. 在宅サービス」の51.7%、「1. 医療ケア」の49%という結果となっています。



問17 その他の記載内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害年金の増額 ・ 仕事ができる場所がほしい ・ 障がいのある皆さんが必要とされる支援 ・ 正社員などの人数確保 ・ 手続きが簡易であること ・ 人の教育 ・ 親の介護等ができるか不安なため、介護人の確保がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害レベルにあう施設の紹介 ・ 現実になってみないとわかりません ・ 交通の整備、充実 (3) ・ 夜暗くて歩けない ・ 入院 ・ 一概にわからない

さらに障害のある人が地域で生活するために必要な支援を介護保険の認定の有無別でみると、介護保険の認定を受けている方では、「1. 医療ケア」、「2. 住居確保」、「3. 在宅サービス」、「4. 生活訓練など」、「5. 巡回訪問による助言」が介護保険の認定を受けていない方より高い回答割合となっています。一方、「6. 経済負担の軽減」、「7. 相談対応など」、「8. 住民の理解」などは介護保険の認定を受けていない方の回答割合が介護保険の認定を受けている方より高い結果となりました。

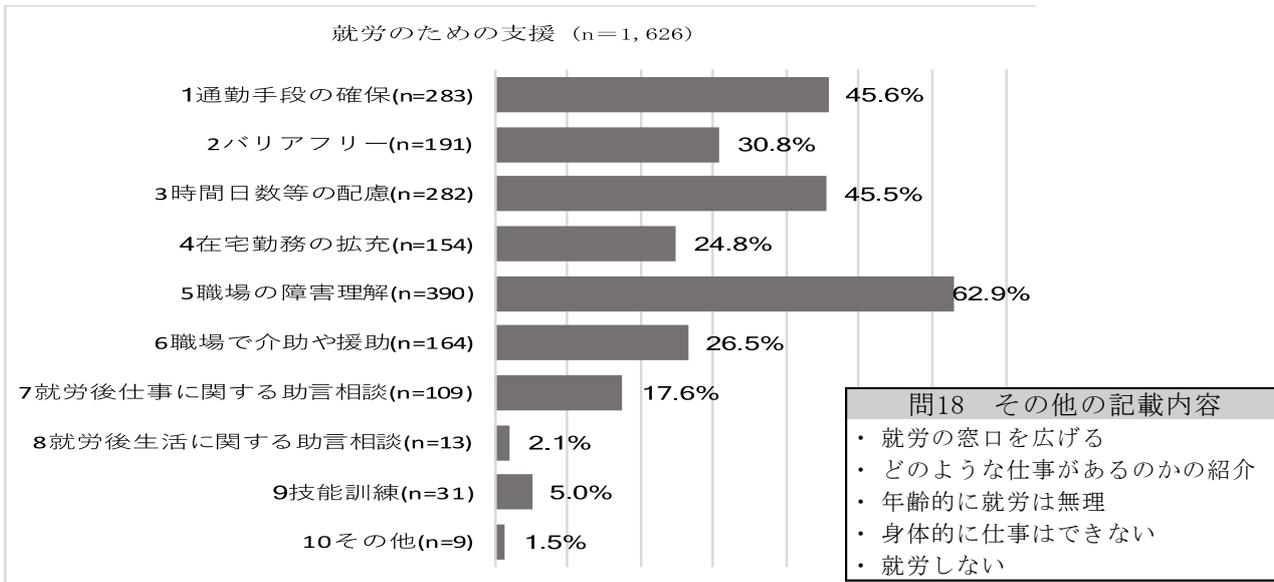


問18 あなたは、障害のある人が就労する上で、どのような支援が必要だと思いますか。

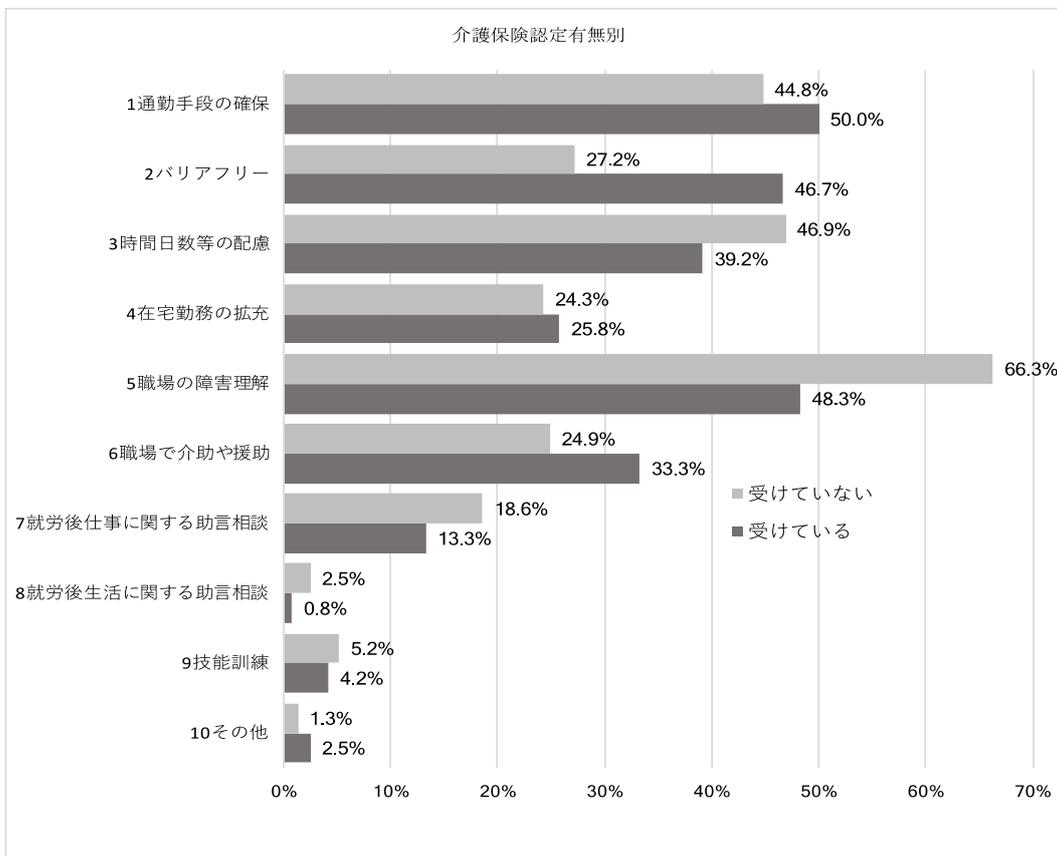
(○は3つまで)

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮
3. 短時間勤務や勤務日数などの配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の障害への理解
6. 職場で介助や援助などが受けられること
7. 就労後の仕事に関する助言や相談
8. 就労後の生活に関する助言や相談
9. 企業の求める技能に対する訓練
10. その他 ()

障害のある人が就労する上で必要な支援をたずねたところ、「5. 職場の障害理解」が 62.9%と最も高く、次いで「1. 通勤手段の確保」の 45.6%、「3. 時間日数等の配慮」の 45.5%という結果となっています。



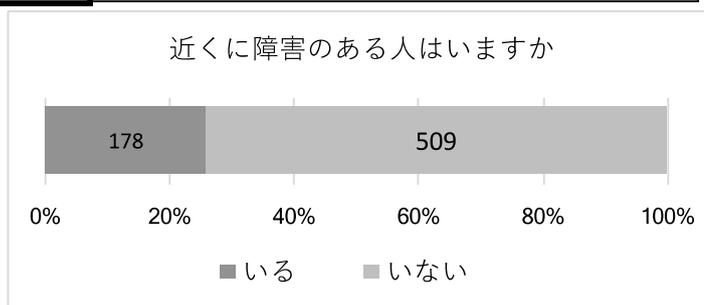
さらに障害のある人が就労する上で必要な支援を介護保険の認定の有無別で見ると、介護保険の認定を受けている方では、「1. 通勤手段の確保」、「2. バリアフリー」、「4. 在宅勤務の拡充」、「6. 職場で介助や援助」が介護保険の認定を受けていない方より高い回答割合となっています。一方、「3. 時間日数等の配慮」、「5. 職場の障害理解」、「7. 就労後仕事に関する助言相談」、「8. 就労後生活に関する助言相談」などは介護保険の認定を受けていない方の回答割合が介護保険の認定を受けている方より高い結果となりました。



問19 親族や近所の方など、あなたの近くに障害のある人はいますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

障害のある人が身近に「1. いる」と回答した方は25.9%、「2. いない」と回答した方は74.1%となっています。



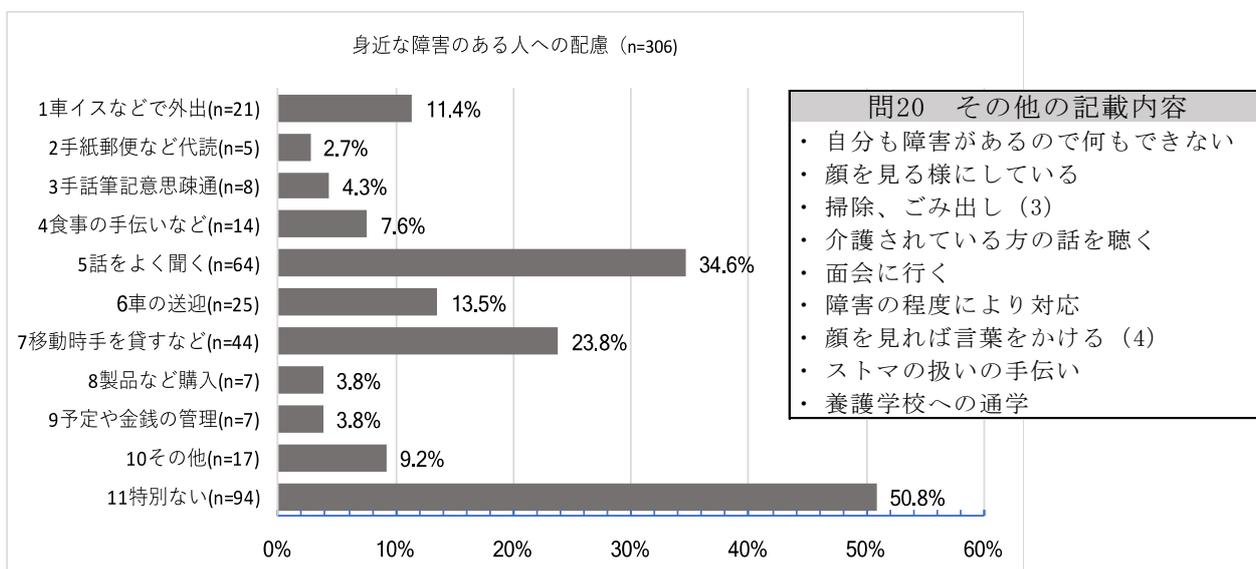
【問19で「1. いる」と答えた方にお聞きます】

問20 あなたは、近くにいる障害のある人に対して、どのような配慮を行っていますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 車いすなどで一緒に外出する | 8. 障害のある人が働く事業所や |
| 2. 手紙や郵便物などを代読する | 会社の製品などを購入する |
| 3. 手話や筆記などで意思疎通を行う | 9. 活動予定や金銭などの管理 |
| 4. 食事の手伝いなどをする | 10. その他() |
| 5. 話をよく聞く | 11. 特別な配慮はしていない |
| 6. 外出時に車の送迎をする | |
| 7. 移動の際に手を差し伸べたり、
肩を貸したりする | |

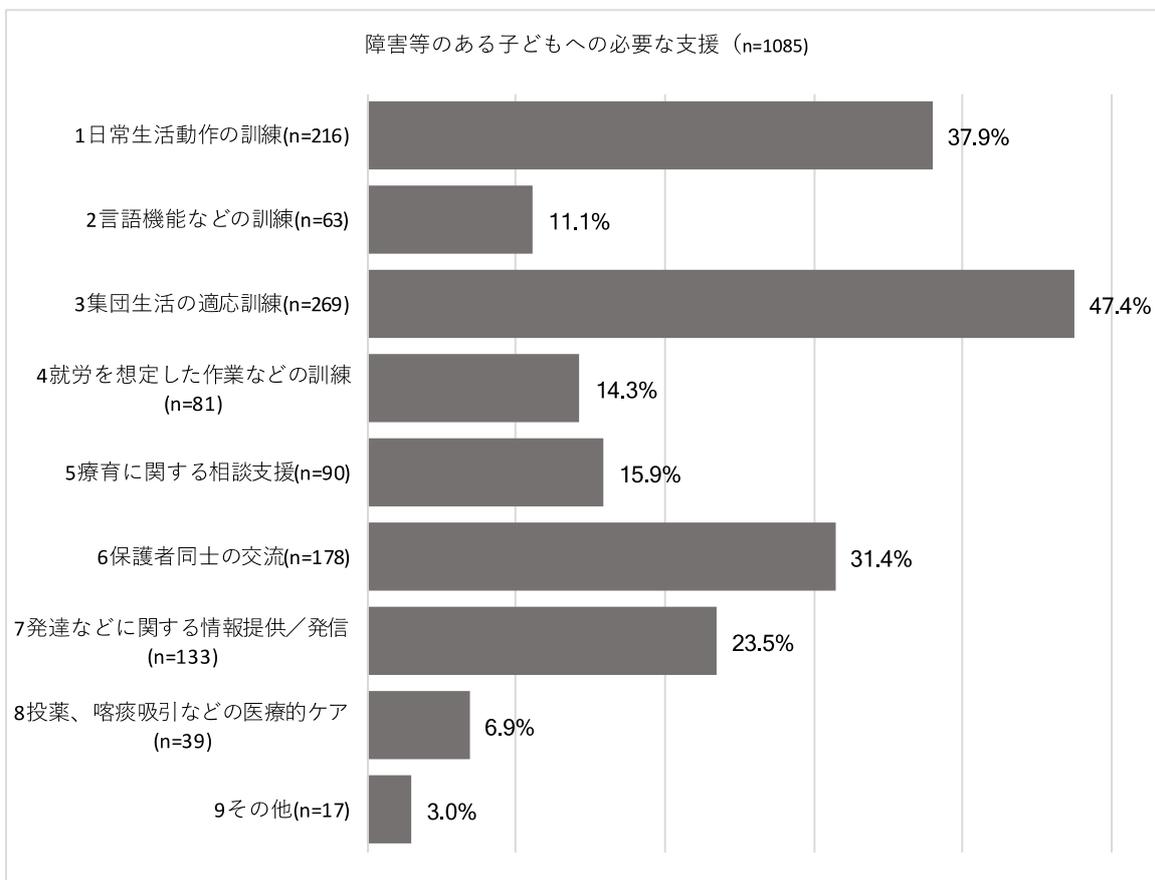
近くにいる障害のある人に対して、どのような配慮を行っているかたずねたところ、「11. 特別な配慮はしていない」が50.8%と最も高く、次に「5. 話をよく聞く」が34.6%となっています。



問21 あなたは、発達が気になる子どもや障害のある子どもが幼稚園、保育所、学校などに通う上で、どのような支援が必要だと思いますか。（〇は2つまで）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 日常生活動作の訓練 | 6. 保護者同士の交流 |
| 2. 発声発語機能、言語機能などの訓練 | 7. 発達などに関する情報提供・発信 |
| 3. 集団生活の適応訓練 | 8. 投薬、喀痰吸引などの医療的なケア |
| 4. 就労を想定した作業などの訓練 | 9. その他（ ） |
| 5. 療育に関する相談支援 | |

発達が気になる子どもや障害のある子どもが幼稚園、保育園、学校などに通う上でどのような支援が必要かたずねたところ、「3. 集団生活の適応訓練」が47.4%と最も高く、次いで「1. 日常生活動作の訓練」が37.9%、「6. 保護者同士の交流」が31.4%となっています。



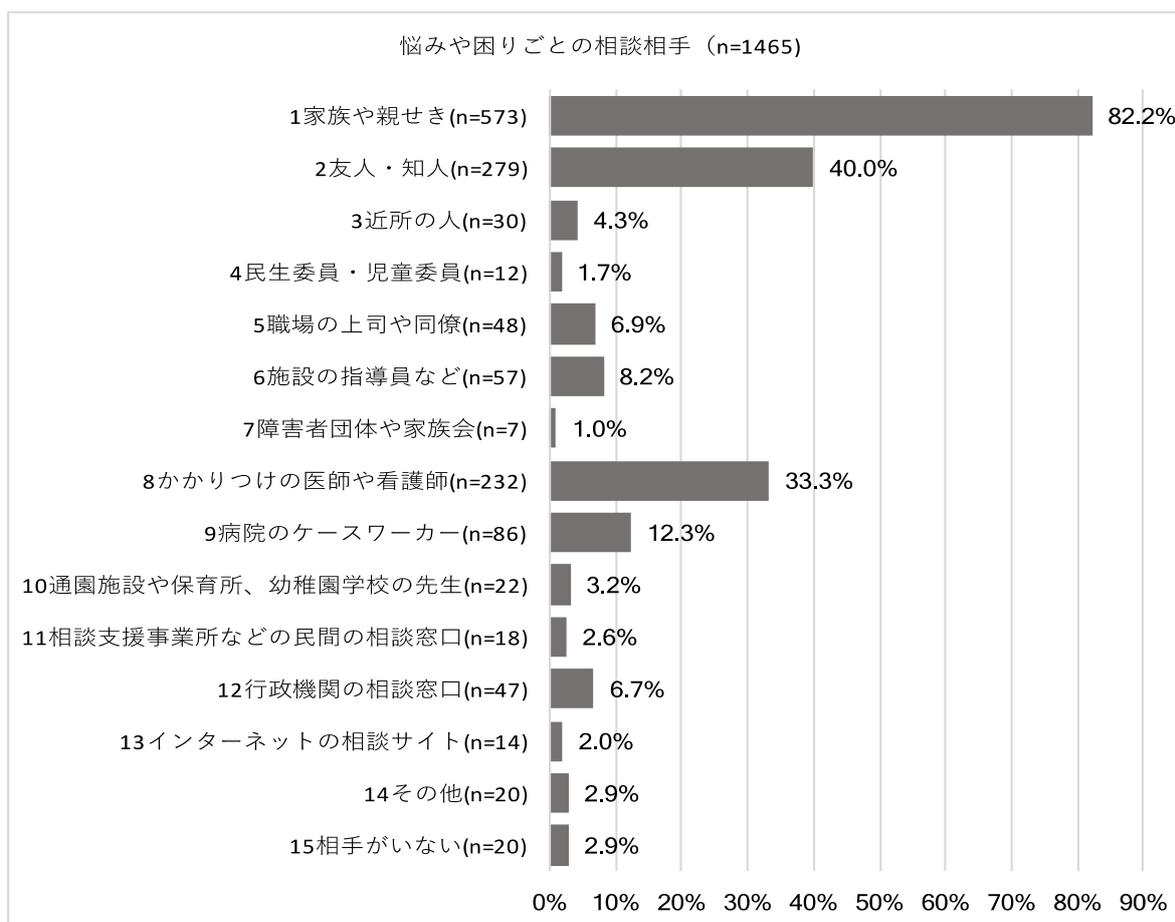
- 問21 その他の記載内容
- ・ それぞれなのでその人に適したもの
 - ・ 健常者や通常の児童への教育
 - ・ 経済的な負担の軽減
 - ・ 通わないほうが良い
 - ・ 教員、周囲の保護者による理解 (3)
 - ・ 小学校 (授業終了後のケア)
 - ・ 分からない (3)

相談相手などについて

問22 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(〇は3つまで)

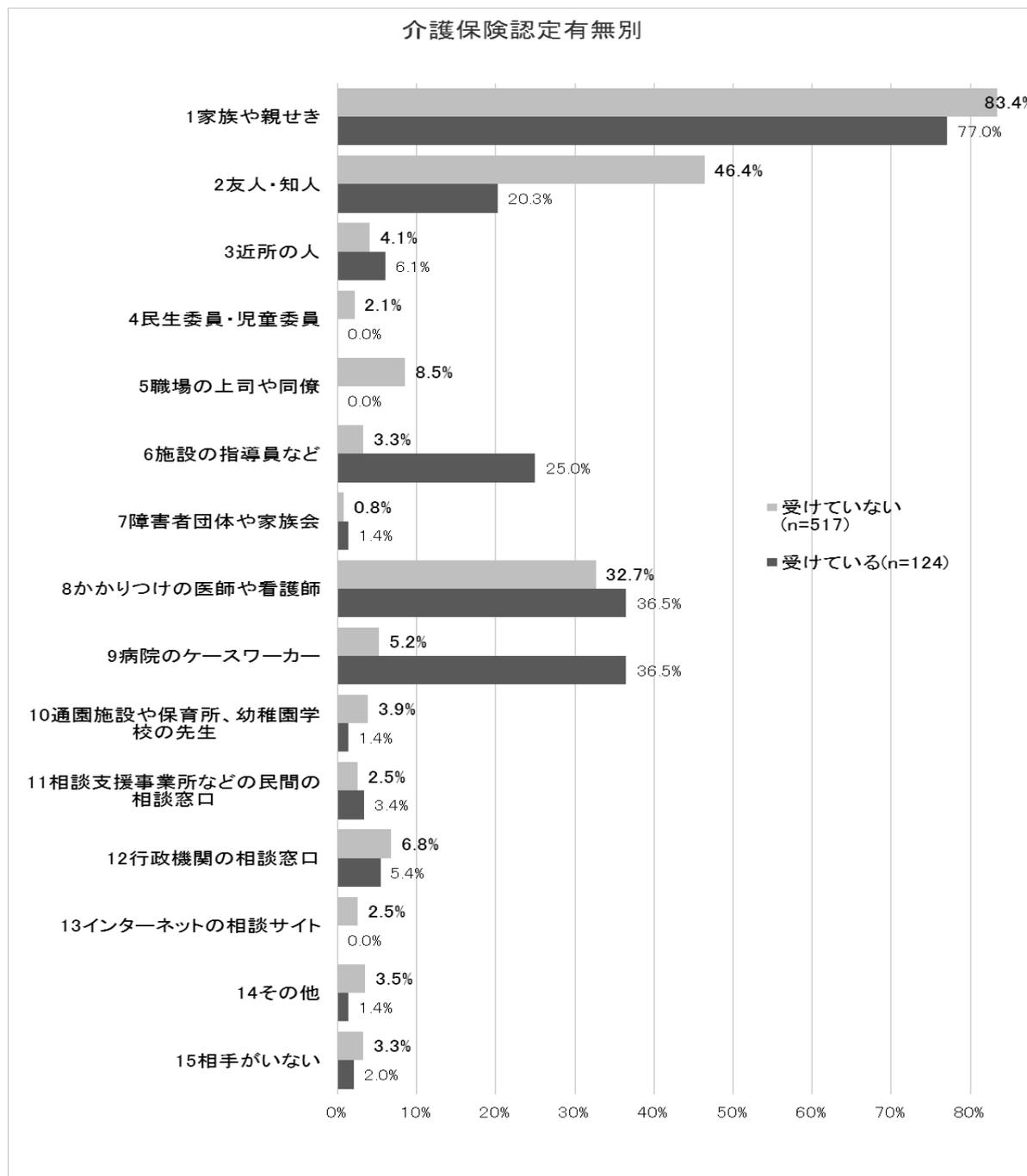
- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 家族や親せき | 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー |
| 2. 友人・知人 | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 3. 近所の人 | 11. 相談支援事業所などの相談窓口 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 12. 行政機関の相談窓口 |
| 5. 職場の上司や同僚 | 13. インターネットの相談サイトなど |
| 6. 障害福祉サービス事業所の支援員やヘルパーなど | 14. その他() |
| 7. 障害者団体や家族会 | 15. 相談相手がない |
| 8. かかりつけの医師や看護師 | |

普段の悩みや困ったことを誰に相談するかたずねたところ、「1. 家族や親せき」が 82.2%と最も高く、次いで「2. 友人・知人」が 40%、「8. かかりつけの医師や看護師」が 33.3%となっています。



次に各項目の回答割合を介護保険の認定有無別でみると、介護保険の認定を受けている方の回答では「9. 病院のケースワーカー」が 36.5%であるのに対して、認定を受けていない方の回答は 5.2%とかなり低くなっています。また「6. 施設の指導員など」も介護保険の認定を受けている方の回答は 25%であるのに対して、認定を受けていない方の回答は 3.3%と低くなっています。

一方、「2. 知人・友人」では、認定を受けていない方の回答は 46.4%であるのに対して、認定を受けている方の回答は 20.3%と低くなっています。

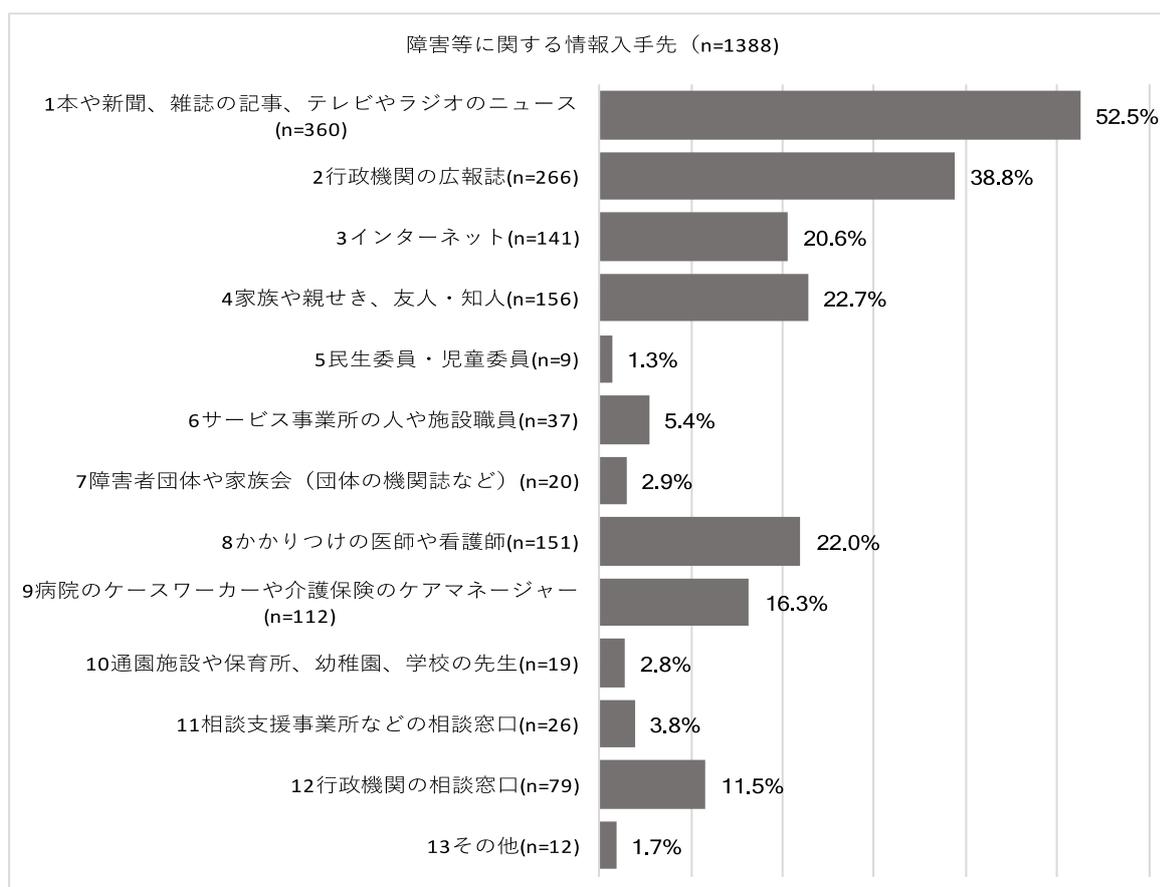


問22 その他の記載内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談することはない (5) ・ 訪問看護 ・ 相談しない (3) ・ お陰で私に相談されることが多い ・ 友達と話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 悩みや困り事により相談相手が異なる (2) ・ 学校からみえる通級指導の先生 ・ 夫、子供 (3) ・ ESP

問23 あなたは、障害のことや障害福祉サービスなどに関する情報を、どこで知ることが多いですか。(〇は3つまで)

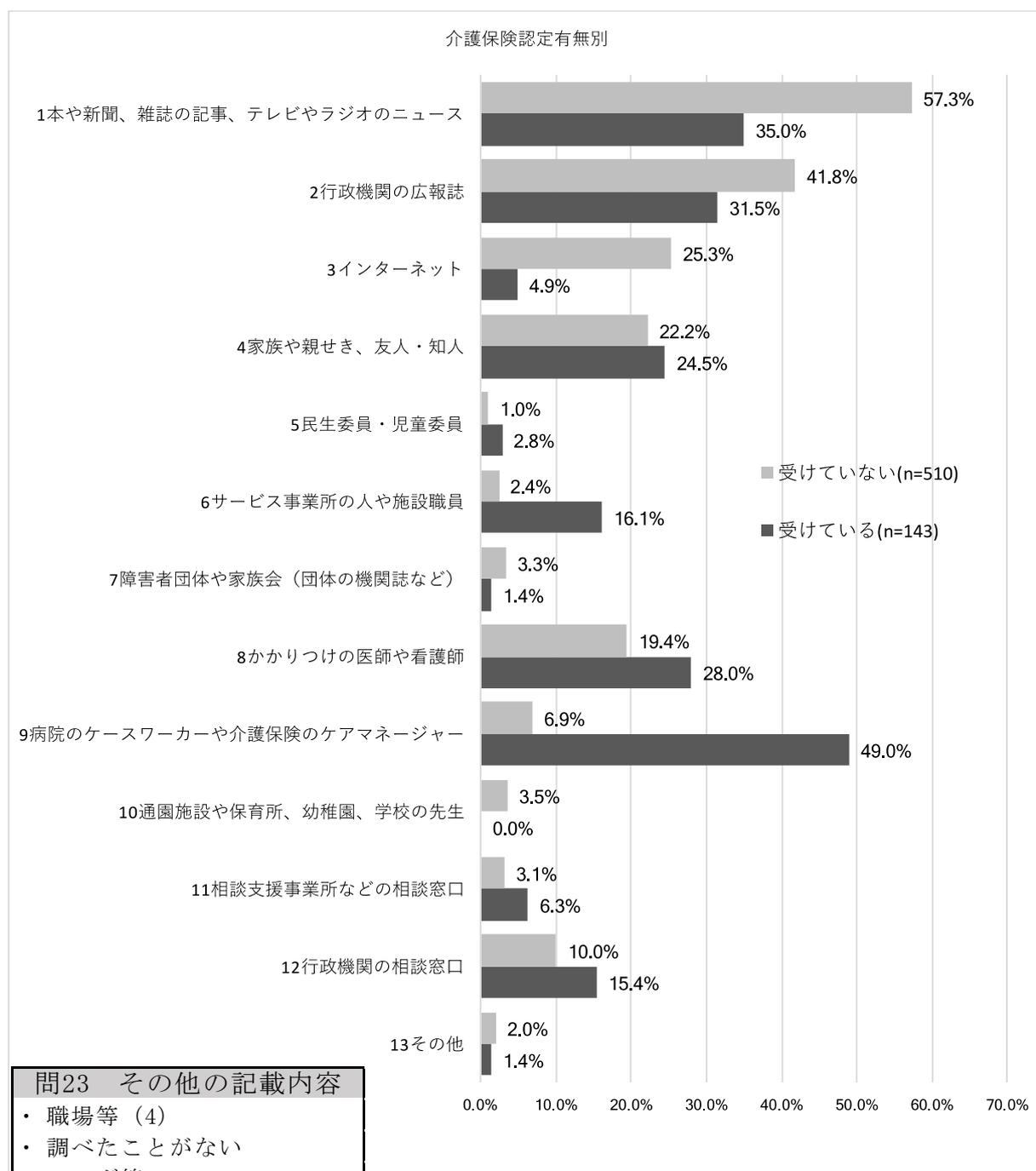
- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース | 8. かかりつけの医師や看護師 |
| 2. 行政機関の広報誌 | 9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー |
| 3. インターネット | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 4. 家族や親せき、友人・知人 | 11. 相談支援事業所などの相談窓口 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 12. 行政機関の相談窓口 |
| 6. サービス事業所の人や施設職員 | 13. その他() |
| 7. 障害者団体や家族会(機関誌など) | |

障害のことや障害福祉サービスなどに関する情報を、どこで知ることが多いかたずねたところ、「1. 本や新聞、雑誌、テレビやラジオ」が52.5%と最も高く、次いで「2. 行政機関の広報誌」が38.8%、「4. 家族親せき、友人・知人」が22.7%、「8. かかりつけの医師や看護師」が22%、「3. インターネット」が20.6%となっています。



次に各項目の回答割合を介護保険の認定有無別でみると、介護保険の認定を受けている方の回答数では「9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー」が49%であるのに対して、認定を受けていない方の回答は6.9%とかなり低くなっています。また「6. サービス事業所の人や施設職員」も介護保険の認定を受けている方の回答は16.1%であるのに対して、認定を受けていない方の回答は2.4%と低くなっています。

一方、「1. 本や新聞、雑誌、テレビやラジオ」の項目では、認定を受けていない方の回答は57.3%であるのに対して、認定を受けている方の回答は35%と低くなっています。また「2. 行政機関の広報誌」も介護保険の認定を受けていない方の回答は41.8%であるのに対して、認定を受けている方の回答は31.5%と低くなっています。同様に「3. インターネット」も介護保険の認定を受けていない方の回答は25.3%であるのに対して、認定を受けている方の回答は4.9%と低くなっています。

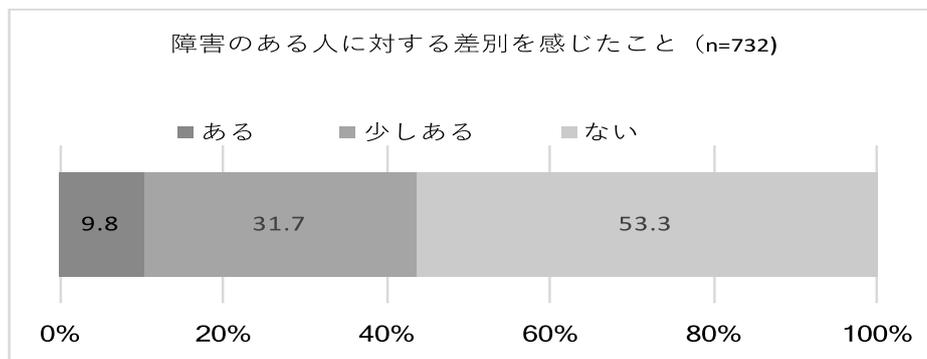


権利擁護について

問24 あなたは、日頃の生活の中で、障害のある人に対する差別を感じることはありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

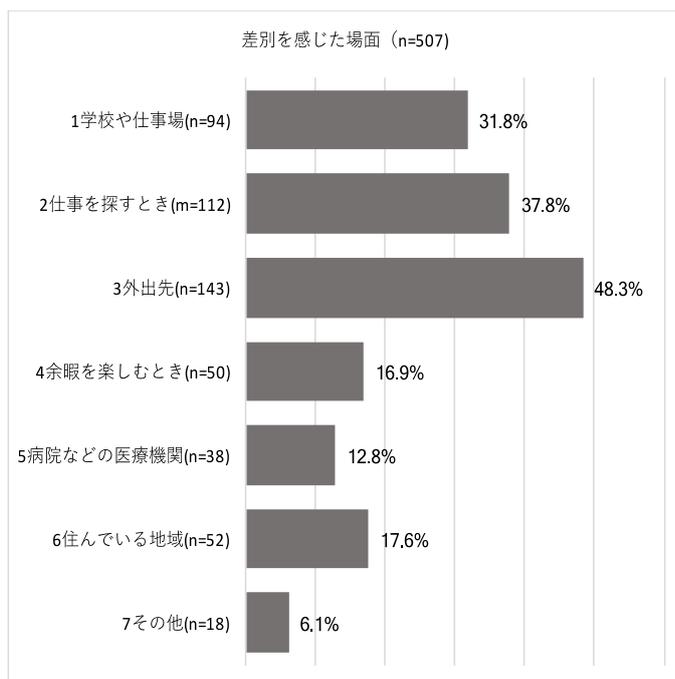
日頃の生活の中で障害のある人に対する差別を感じることはあるかたずねたところ、「ある」が9.8%、「少しある」が31.7%で、合わせると41.5%という結果です。



【問24で「1. ある」または「2. 少しある」と答えた方にお聞きします】

問25 どのような場面で差別を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 学校や仕事場 | 5. 病院などの医療機関 |
| 2. 学校や仕事を探すとき | 6. 住んでいる地域 |
| 3. 外出先へ移動しているとき | 7. その他 () |
| 4. 余暇を楽しむとき | |



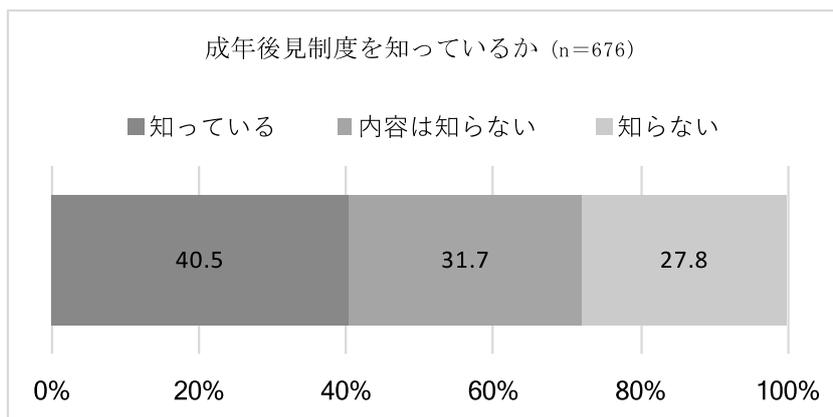
どのような場面で差別を感じたかをたずねました。「3. 外出先」が48.3%と最も高く、次いで「2. 仕事を探すとき」が37.8%、「1. 学校や仕事場」が31.8%となっています。

- 問25 その他の記載内容
- ・ エレベーター、エスカレーターのないところがつらい
 - ・ 村八分的な目でみられる
 - ・ 障害者の方へ対応する人。但し何が差別の基準か不明
 - ・ 福祉施設
 - ・ 公共交通機関
 - ・ 行政機関 (3)
 - ・ 道路
 - ・ 人々の意識の中
 - ・ 近くに障害者施設が出来たが少しこわい思いをしている
 - ・ 家
 - ・ テレビなどの情報 (2)
 - ・ 病人に見られない
 - ・ 手帳を入手して、楽に働き給料をもらっている人もいる

問 2 6 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

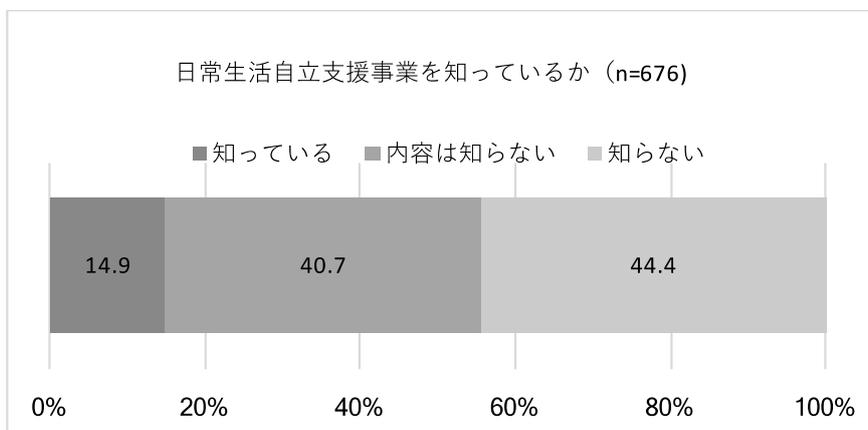
成年後見制度についてどこまで知っているかたずねたところ、「1. 名前も内容も知っている」が40.5%と最も高く、次いで「2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が31.7%、「3. 名前も内容も知らない」が27.8%となっています。

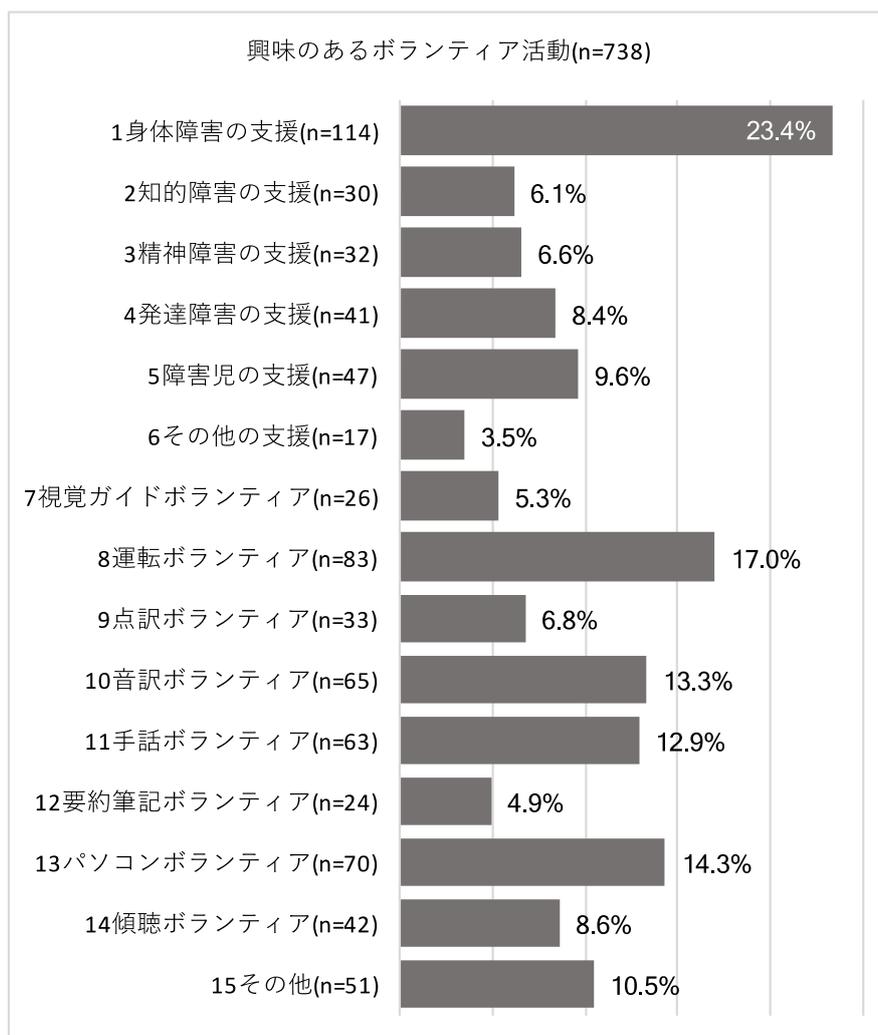


問 2 7 あなたは、日常生活自立支援事業について知っていますか。(〇は1つ)

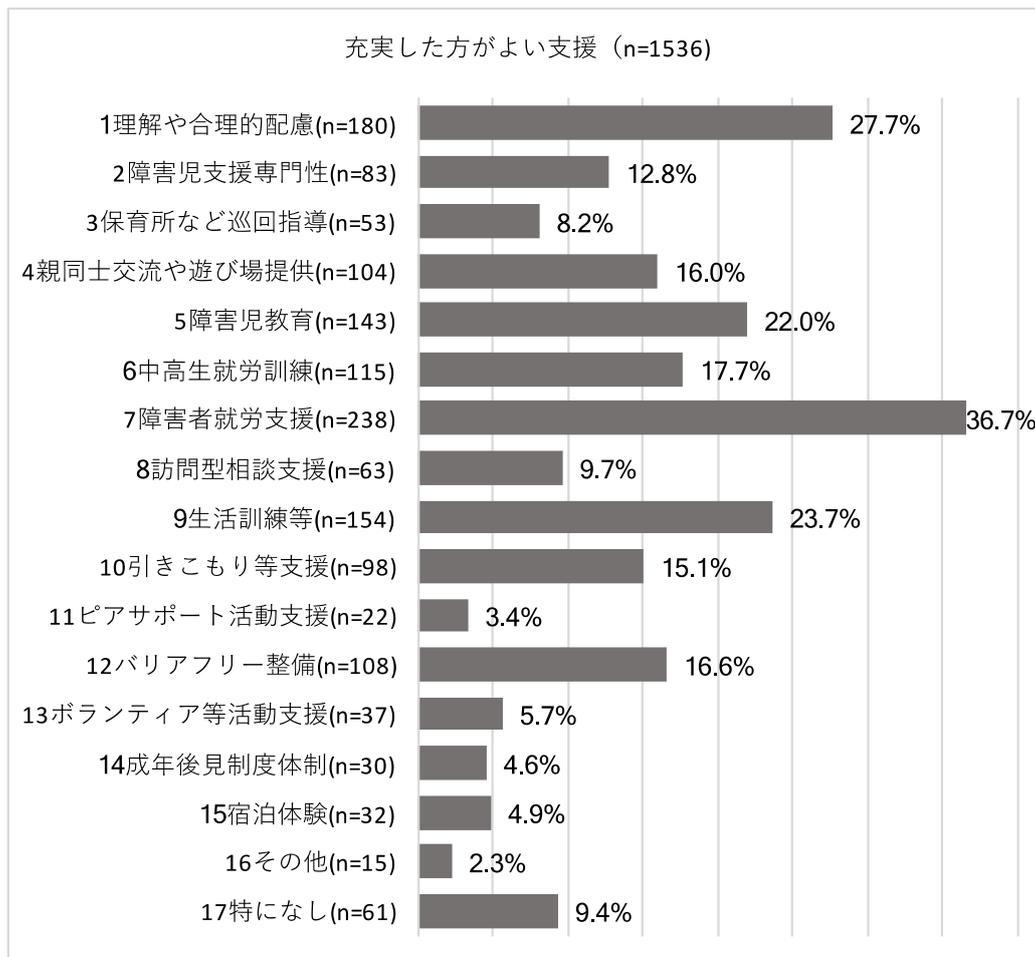
1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

日常生活自立支援事業についてどこまで知っているかたずねたところ、「3. 名前も内容も知らない」が44.4%と最も高く、次いで「2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が40.7%、「1. 名前も内容も知っている」が14.9%となっています。





- 問30 その他の記載内容
- ・ まだ小さいので分からない
 - ・ 興味あるが身体的に残念
 - ・ 娯楽（囲碁）
 - ・ 興味はあるがイメージがわからない
 - ・ 日進市文化財ボランティアガイド
 - ・ 数学教師の経験を生かしたい
 - ・ 庭そうじ
 - ・ 手助け
 - ・ 料理
 - ・ 将棋ボランティア
 - ・ 年齢的にできない (8)
 - ・ 参加できない (8)
 - ・ 興味はない (7)



問31 その他の記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々なことを気軽に相談できる支援員 ・ 障害の助言、病院等 ・ 全て必要在り ・ 健常者へ障害者との関わり方を教える ・ 経済的な負担軽減 ・ 今は特に支援の事は考えた事は無い ・ 障がいのある子のためのスポーツ教室（運動苦手な子向け）、絵画工作教室 ・ 耳があまり聞こえないので何もできない ・ 公共交通機関の整備（くるりんばすなど） ・ バス、鉄道、タクシーの足の充実（2） ・ 最終的に家族が面倒を見なくても当事者が生きてゆけるような訓練や支援 ・ 児童保護施設の子供達の支援

保育園、幼稚園、学校における障害に対する支援や環境について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

年齢	障害手帳等	医療的ケア	介護保険	自由記述
4	(身体) (難病)			療育園に通っているが、専門の方が少なく、相談しても納得できる答えが得られない。子供がどのような療育を行っているのか、一人ひとりについてもっと深く関わってほしい。(東郷町などは、定期的に保健師が見学に来て面談を行ったり、療育内容について検討してくれている) 障害児に通っている幼稚園や学校がない(特別支援学校がない上に、他の市の学校、豊田や瀬戸に通えないのはおかしい。)
5	(身体) (知的)			障害への理解の講習会や、手話などの言語条例などの制定に合わせて役所職員の講習や、学校職員や保育士に向けての講習会等があるといいと思います。(自閉症の理解)
5		医		小学校の支援級がそれぞれの学校で違いがあると聞いています。通級がある学校ない学校など。統一してほしいです。軽度の障害を持っている子はやれるところは普通級で、苦手なところは支援級で見てもらえることはできないのでしょうか。なかなか支援級の情報も分からないので、知る場所を教えてください。
6	(発達)			小学校(特別支援学級)の担任の先生は、障害について勉強しておくべきだと思う。配属されて仕方なく担任っていうのが言われなくても分かっただけです。養護教員免許の保持者が1人でもいたほうが良いと思います。保育園では保持者でないものの、障害について(その子にとって)考えていただけていた。
6	(発達)	医		障害を持つ子それぞれの支援の仕方や注意すべきことを先生も理解していただきたいので勉強会があるとよいと思う。初めて支援級の先生になった先生は、どこまで支援が必要なのか知らなかったりすると思うので。
7	(身体)	医		いつも通っている園や学校で気軽に相談できると助かる。(わざわざ市役所などに行くのはハードルが高い)
7				グレーの子がいるのに保育園や学校側は動きを見せない。
7	(身体)			学校(小学生)がとても古く階段が多い。古い故にバリアフリー化されていないので怪我をしないか心配です。(〇〇小学校に通う選択肢もありましたが、身体のみ障害なので〇〇小に在籍中です。)先生も担任1人しかいないので気が回らないことが多いよね(先生談)取り残されていないか不安です。(学習内容そのものではなく、体が不自由なので早い行動ができないので、置いていかれる気がします。)
8	(身体)	医		学校の授業で障害について理解、話し合う場を設けて欲しい。→いじめや差別が少しでも減るように。
9	(知的) (発達)			今支援級にいますがもう少し先生が多いといいなと思います。

9	(身体) (難病)	医	小学校によって、支援級のあり方にばらつきがあるように思います。市で、統一すると良いかも。また、支援級は発達障害等の知識や経験を持つ先生が好ましいと思います。医療的ケアが必要な児や、肢体不自由児に対し、専門の (ot、pt) がかわりをもつと良いと思う。
9	(身体)	医	〇〇障害のある児童が地域の学校に通う例が少なく、通常学級の中で活動していくための支援、配慮が思うように得られていない。本人の努力で学習など頑張っているが、外見上ははっきりと区別しにくいいためかと思われる。現場に余裕が少なく、やはり人的支援を充実することが喫緊の課題だと感じる。(先生方が忙しそうに見え、これ以上は望みづらい)
11	(発達)		早期に療育できる環境にしてください。(例)言葉の獲得
12	(精神) (発達)		支援級、普通級の交流が少ないと思う。
14	(知的) (発達)		療育手帳C判定の子が行ける養護高等学校が少ない為、競争率が高いので将来に不安を感じています。(豊田高等特別支援学校の様な所の定員数を増やしてほしいです)
14	(精神)		障害に対する理解度が乏しい。
15	(発達)	医	小・中学校の障害を持った子に対する理解、支援は随分良くなってきていると感じます。特別支援学級は通常学級との交流があり、本人にも通常学級の子にもとてもいい交流になっていると思います。
22			障害を持つ方と積極的触れ合うことができる環境を整えて欲しい。小・中学校時代、特別支援学級の子たちと一緒に学習することもありましたし、授業で「障害とは何か、どのような障害があるのか」ということは教えてもらっていたので、何となくの知識はありました。しかし、実際に触れ合ってみないと、どう接していいのか、分からないと思います。大学時代、養護学校に行きましたが、今まで理解があるつもりでしたが、本当に「つもり」だったんだな、と思い知らされました。どの子も素直で可愛くて、それぞれ少し個性がある、そんな感じを受けました。どうか、子どもたちがもっと自然に、理解し、受け入れ、協力していける様に、教育プログラムに組み込んで欲しいです。
23			障害についての理解を子どもたちに深めてもらう。(学校なら同じ年ぐらいの子がなっているであろう発達障害、知的障害、障害児について)
26	(精神)	医	子どもころから大人になって社会に出るということを常に周りの人は意識して接していただきたいです。特に異性との距離感、接し方などは厳しくお願いします。
27			もう少し住みやすい街にしてください。障害者に差別のないような街にして欲しいです。

27			<p>学校に障害者の方が入学された場合、ある程度どういう障害なのか説明があったら良いなと思いました。自分が学生の頃は、1回軽く（子供にわかる程度）の説明をうけましたが、やはりそれだけでは理解が足りないと思うことがありました。例えば、発達障害の子が突然給食をひっくり返したときに、大人であれば充分頭で理解できて落ち着いた行動がとれますが、子供のころの自分とはかくびっくりして怖いと思ってしまったことがありました。こういう行動をとったときはこういうサポートしてあげてほしい、みんなが一度に駆け寄ってどうしたのって聞くとパニックになっちゃうからまずは先生を呼んでほしいなど周りの人がサポートしやすいような環境が良いなと思いました。</p>
28			<p>まだ、障害に対する理解が社会全体として乏しいので、もっと交流すべきである。また、普通学級に通わせたい保護者に、自分の子供の障害の理解をさせるべきである。障害児を持つ保護者は子離れできないことが多いので、親の支援も必要である。</p>
33			<p>障害のある子どもでも、親が働けるように、安心して預けられる専門施設があるといい（保育園、幼稚園）。</p>
34	(精神)	医	<p>多様なバックグラウンドを持つ子どもを受け入れることのできるシステム構築が必要だと思う。周囲の人々の理解を高めるような情報提供が大切だと思う。周囲の人々の冷たい視線ほどつらいものはない。</p>
35			<p>学校では、まだ周りにいないため、実感がなくあまりよくわかりません。もし、障害のある子がいたら、どのように接してほしいとか、逆に要望を教えてもらえたら良いかと思います。知っていれば、協力することもできると思うので、オープンな環境をつくってもらえたら良いと思う。</p>
36			<p>障害児ではないと思うが、少し成長の遅れている子に対して、息子はあまり良い感情を抱いていないように感じます。保育園では平等に接していると思いますが、親から声の伝え方が難しく感じます。まずは親が知識を深めなければと思います。</p>
37			<p>早く見つけてあげられたら対応が変わり、お子さん本人のためにもなると思います。ストレスがあるなしで本人の生活も充実度が変わるので今後の長い人生を考えたとしても大切だと思います。また子供だけでなく親の障害の発見も重要です。少し変わっていて対応に困る保護者の方がいてお子さんも少し不安定で正直困っています。とても難しくデリケートな事なので素人には、なすすべがありません。</p>
37		医	<p>障害は、近所の理解がとても大切だと思います。例えば近所に障害をもたれた方がいた場合、その方が親族がその障害に詳しいプロを呼んで、近所の人を集めて理解してもらう活動が必要ではないでしょうか。ぼくは、もしそのような方が近所にいらっしゃったら、絶対その方について理解を深めたいです。</p>
37	(身体) (難病)		<p>いろいろな障害を持った子供に、周りの大人、子供が偏見、差別がなくなるよう障害への理解をお願いしたいです。</p>

37	(精神)	医	お金を稼げる、未来に夢を叶えたい。天災の時に助かりたい。パソコンの玄人になりたい。年金制度何とかしてほしい。以上の支援環境を。
38			障害者に対する接し方、サポートなどが認知、周知されるといいと思います。現状は、障害者に関わりがある人しか理解されてなく、どうしたらいいのか、何をしたらいいのか分からない。所詮ひとごとで終わる。
38	(身体)		児童の障害についての教育
39			保育士をしていました。今まで、障害を持った子など、たくさん出会い、一緒に集団の中で見てきました。保育士間で、どう接していくか話し合っているいろいろな接し方をしてきました。でも、お母さんは、現実を素直に受け入れられない（受け止めない）方も多く、ただ見てくれていたらいいんですという方もいます。それでは、連携が取れずその後良い方向へと導いてあげられないので、保育園、幼稚園、学校、お母さん方の間に入ってくださる支援が、もっといかせられたらよいと思います。
40			市内に学校作ってほしい。
42			1 クラスの中に、何人も発達障害の子どもがいると、担任の先生の負担が大きくなってしまうので、サポート役の先生を、もう少し確保したほうが良いのではないかと思います。
42	(発達)		目に見える障害は、周りの人にも理解してくださる方もみえると思いますが、発達障害の場合、職場での理解が少なく、本人にとってもものすごいストレスになっていたようです。それを親に話すことすらしないで、我慢していて、ひきこもってしまった現状を見ると、時代的なこともあったかもわかりませんが、周りが（教師や親）の理解があれば、いじめに繋がらなかったのではと思います。
43			子供のクラスに少し障害を持つお子さんがいました。（小学校）なかなか自分の感情をコントロールすることが難しいようで、すぐに怒り出して授業が中断することもあり、みんな、戸惑っているようでした。ただ、そのお子さんがいることで、社会に出たとき、色々な方々を受け入れることが早くできると思うので、貴重な経験で良かったと思います。障害の方の集団生活は大変だと思うけど、健常者がちゃんと学ぶ機会が充実していれば、もっと上手に集団生活ができると思います。
43			特別支援が必要な子供たちの障害のレベルが分からないので、クラスがあることはわかるのですが、関わり方がわからない。
44			私が子どもの頃は、障害のある子と一緒にクラスで勉強していたが、今は別々のようなので、障害児に対する子供たちの理解が逆に進まないように思う。
46			障害者自身やその障害者のご家族の意向を尊重し、どうしていきたいか適性に判断し支援、又は、環境を充実する必要があると思いました。子どもにとっては、差別をなくし、普通学級を望みたいところですが、最近の「いじめの問題」も全国的に取り上げられている大きな課題があります。それらをクリアし障害者も健常者も同じ環境で勉強を共にするのが理想です。

46	(身体)		聴覚障害の場合だと口話では 100 パーセント伝わらないため、聞き取りテストは無理なので、なるべく問題を紙に書いて渡すなどの配慮がほしいです（経験上）。
46			普通学級の中に 1 から 2 名の障害のあるお子さんがいらっしゃる場合、見た目には区別がつかないため、保護者の方から誤解を招く時があり、困りました。（幼稚園で働いたときの経験ですが。）園児や先生はわかっているのに、皆と違っていても暖かく見守られる雰囲気でした。
46			逆差別となり健常者側に特別な配慮を求むような案件は無くすべき。限りある資本はバランスよく使うべき。
47	(身体)	医	皆さんが望むようにしてください。
48			目に見える障害ではない場合。隠さず周りの人間の援助を受けるべきと思う。障害を隠さなくても良い環境が必要だと思う。
48	(精神)		中学生くらいの子たちが、通って行くとき精神病がいるとばれている。
50			集団生活から学べることと、障害のある子どもたちが孤立しないこと。障害の有無にかかわらず、子ども達が同じだと感じることができるよう、偏見のないように教育して欲しいと願います。
50	(身体)		発達障害を抱えている児童への対応が、担任だけでは難しいと思われま す。専門的な知識を持った、支援員の拡充または知識を持った教員の定 数を増やして、きめ細かな対応をとってほしいと思っています。
50			子どもと同学年に、発達障害のお子さんがあり、小学校までは、普通ク ラスによく混ざって活動していましたが、中学生になると名前だけ普通 クラスにあるが、ほとんど交流なし。同じ目線で育ってきたのに、周り の子ども達の意識も変わってきました。周りの環境が障害をもつ方をよ り孤立させていると感じています。学習内容も、普通クラスと大幅に異 なり、そのどちらにも当てはまらない発達障害のお子さんの支援を望み ます。できることの可能性をつぶさないために。発達障害がある人もい ることが普通に思えるような学級づくりをしてほしいと思います。
52			子どもが小学生の時に発達障害のある子が何人か、通学路の分団やクラ スにいました。何ヶ月かすぎて、そのことを知りましたが、できること なら、入学のときにでも説明が学校からあれば親も子供、その子にはそ の子への接し方が違っていたと思います。お互いの不安も少しは軽減さ れたと思います。その後も転校することもなかったと思います。
52			障害とは千差万別で、一括に対応を決めるのは大変難しいことと思いま すが、障害者に対する理解や、支援を学んで、障害者と健常者が共に生 きるという事はまさに子どもの頃からの教育によって可能となると思 います。とにかく子どもたちが障害のある人を差別しないような心を学校、 幼稚園などで育てていただければと思います。
54			教職員の方への正確な情報（障害者の現状と育成歴などを含む）。
54	(身体)	医 介	実行してください。
54			色んなことを自分も含め、知らないことが多すぎるので多くの人に理解 してもらえるようにするといいいと思います。いろいろな障害があるとな

				ず知ってもらうことも大切なのだと思います。
57				健常者の理解が、深くなれば良いが、なかなか、周りに障害者がいないと知る機会がなく、正直分からなかったが、母が高齢になりデイサービスに通うようになり、初めて障害者がいる家族の大変さを知りました。田舎だとまだよいが、都会では家族が孤独になるような気がします。
57	(身体)			学校の特別支援学級が、特別支援学校のようになっているようです。特別支援学級では、指導しきれないと思うので、障害の判定を正しくしていただき、支援学校行くべき障害の重い子は、そちらへ行くよう勧めて欲しいと思います。
59	(身体)			日進市は名古屋市行政をみならってほしい。
59	(身体)			補助できる人を多く配置すること
62				障害者に対する偏見をなくす思いやりを教育の中で伝えて欲しい。
63	(身体) (精神)	医	介	先生方にはあったかい心で接していただければと思っています。
64				小さい時から障害者と接して、健常者は当たり前ではないことを教育として受けるために、行政機関が積極的に障害者を一般保育園、幼稚園、学校に受け入れるべきだと思います。この世に誕生した意味を小さな頃から身を持って知っているのと障害者としてみるのではなくて同じ人間なんだということを感じられるからです。明日は我が身、当たり前ではなく感謝です。
65				障害に対する理解をもっと持ったほうが良いと思います。何が支援なのか考えていきたい。
66				共に学ぶ共に生きる環境があれば良い
66	(身体)	医		保育園、幼稚園、学校の保育士、教師の障害児の病気の症状、対応などを十分に理解し指導してほしい。適正な処置をしていただきたい。
67	(身体)			障害のある子どもたちが、差別なく一般の(公立)幼稚園、学校等に入れるようエレベーターやトイレの設置、バリアフリー等を取り入れて欲しいと思います。
67				一人ひとりの障害に応じた教育が受けられるよう専門の指導者を置いて欲しい。子どもが小さいときからきちんと教育を受ければ社会に適応していけると思うので。退職者の中には知識を持った人(障害者と関わってきた人)もいると思うので、そういう人を活用したらいいと思います。
68	(身体)	医		障害者施設での職員の暴言暴力が話題となっておりますが、職員の能力、人間性を向上させる教育を国が実施し職員が楽しく、満足できる生活を送ることができる待遇をする。勤務時間、給与などを考慮する(小・中学校以上の待遇を)。
68	(精神)			何をやっているかよくわからないのでわかりません。
68	(身体)	医		障害者に対する教職員、養護の補助員の充実を多く計るべきである。
68		医		質問がわかりにくい。問4で持っていない人は、問5だけ除外項目なのか問6以降も除外なのか!それ以外にも理解しにくい問いが多い。

69		医		保育園、幼稚園、学校にそれなりの教師がいるのか疑問である。専門的な良い先生が、各学校に配置されていることを望むものである。
71	(精神)			発達障害の子どもがいて学校などへ支援を依頼するが、特に支援などはしないと云われ教師には頼めない。なんとか出来ないものか。忙しいとのことだが全く聞く耳を持たない。
72	(身体) (難病)			学習障害のある孫がいるが将来の就業、社会生活が送れるかどうか案じます。学校の先生方の理解も、もっと必要と思います。
72				保育園の運動場等の整備。入口階段に手すり。選挙投票日に困っている人を見かけました。
72				学校または保育園、幼稚園に障害児が入学してきた場合、担任だけではなく、副担任制を設けて、クラスを複数で担当できるようにする。
73				教職員の障害に対する知識習得の配慮。(知的障害などいろいろなケースがあり、誤解されているケースや説明ができない場合がある)。
73				障害のある子どもと離して教育するのではなく、一般学級で経験をさせてほしい。これは一般の子とっても良いメリットになると信じる。
73	(身体) (難病)	医	介	同じ職員仲間でも障害児教育に携わらなかった人は無関心で冷たい。現場でも、平等に関心を持てるようにしたい。
74	(身体)	医		保育園、幼稚園で障害者が入院した場合、保育、看護に大変な時間、手間がかかります。その職員の給与を、行政がしっかりすることが大切と思います。
74		医		〇〇症の人に、茶道華道を教えていました。茶の湯も生花もとても喜んで私が行きますと真っ先に出迎えてくれたりして楽しく、心のすさんでいたのを穏やかになりました。とても感受性が強く優しく接することでよくも悪くもなる人たちを大切にどんな施設でも惜しまず支援をしてあげてください。よろしくお願いします。
75	(身体)	医	介	個々の障害に適応できる施設の充実と支援者確保への財政的な充実。
76		医		障害児を持つ両親がなぜこんなになったのか考えてみるのも必要。なるべく普通にしたいほうが本人も良いと思う。区別を受けることが本人の重荷と思う。
77		医	介	特別支援学級において底上げ教育だけではなく、何か1つ得意なことを徹底的に伸ばしてあげる教育を期待します。
77	(身体)			学校などへの巡回指導と同時に同年代の健常者との交流があると良いと思っています。
77	(身体)			教師が偏見を持たないこと、教師の接し方によって教室の雰囲気が変わることも多い。
80	(身体) (精神)	医		周りの方々が、優しく見守ってあげる方が良いと思う。
80	(身体)		介	身体障害者の〇〇です。3級です。級を上げてもらいたい。

80	(身体)	医	意見と言ってもなかなか難しいです。①老老介護では80歳ともなると2人とも病がありともに倒れ、子どもたちも近くにおらず、八方塞がりです。②病院でも建物、人も不足になり困る。③長生きも、お金が少なくなり、足が悪いので皆に逢えず。④子どもが少なくなり結婚もせず・・・とよいことは何もなくすいません⑤ ⑥ ⑦せめて私1人でも元気にいたいと思っています。
81	(身体)		子どもがいないので具体的な事はわかりません。
82	(身体)		介 外を歩いていて、足の悪い人を見るのは嫌です。
83	(身体)	医 介	該当者いないのでわかりませんが、快適に過ごせる環境作ってください。
84			1、通学、通院の職員(車)の確保 2、付添人が充分であること 3、障害者に対するきめ細かな配慮
85	(身体)		・深い人間理解を持った担当者 ・介護者の待遇改善 ・(専門教育を受けた)優秀な人材、人格的な介護者の育成と確保 ・教育機関の充実、教育者の確保、事業体管理、運営上の厳正な吟味許認可は経済面だけに片寄らないこと
85	(身体) (高脳)	介	学校にカウンセラーを常勤させる。
86		医	行政にいったことがないのでわかりませんよろしく願いいたします。
87		医	昔と違って今は福祉に力を入れて見えますのでありがたいと思います。
?			親の転勤で、日進市内の小学校から〇〇の小学校、そして、日進市内の小学校と変わりました。〇〇の小学校は障害を持つ子もいて授業は一緒に受けていました。その子が車椅子で来て、静かに授業を受けていました。また、学年に関係なく全校生徒が何らかのクラブ活動をする授業もあり、私は卓球を選びました。指が少ない先輩もいましたが、誰よりも卓球が上手でした。私はその学校にいたとき、障害を持つ子を差別する発言を一度も聞いたことがありませんでした。みんな、背が高い人が低い人の違いのように、個性として受け入れていたようにも思います。特別扱いもせず、普通に接していました。大人になってから友人と映画(ファインディングニモ)を見にいった後、友人は差別だと言ったのですが、私には分からず理由を聞くとニモの片ヒレは小さいのでうまく進めないというところでした。日進の小学校の現状はわかりませんが、私が通っていた時は、特殊学級は併設していませんでした。〇〇の小学校のように軽度の子と接する機会があったことで、障害を特別視するのではなく、その子の個性として見れるようになったのかも感じました。障害のある子と完全に分けてしまうより、少し接する機会を設けてあげると、子ども自身、何かを感じたり、察したりするとよい機会になるのではないかと思います。

?			<p>幼少期から障害のあることを本人以外の親や先生が特別扱いしすぎではないかを感じる。子ども同士は、それも含めその子であることを認め合い、子どもなりの遊び方、付き合い方は見つけられると思う。障害があるからと意識せずに交流すべきではないかと思う。親や先生が、子どもたちに特別であることを植えつけてはならない。それが障害を知る機会をつくり、どうすれば相手が助かるか自然と考えられる人になるのでは。</p>
---	--	--	--

障害福祉サービスや行政の取り組みについて、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

年齢	障害手帳等	医療的ケア	介護保険	自由記述
3	(身体) (難病)	医		特別児童扶養手当等の各種補助金の所得制限の撤廃または緩和をお願いしたい。
4	(身体) (難病)			豊田市のような総合的な発達センターをつくってほしい。(療育、リハビリ、通院など、1カ所でまとまっているのは助かるし、情報共有できるので)適切なリハビリ機関が日進にはなく、皆、他の市まで通ってリハビリを受けている。(小児の)特別支援学校をつくるか豊田や瀬戸の学校に通えるようにしてほしい。
5	(身体) (知的)			役所へ行って、どんなサービスがあるとかの知識がないとサービスが受けられないことが多い。他人から聞いて知ることがあり、役所では、知らないとそれで済んでいくことが多いと思う。
6	(発達)			交流会など、障害情報コミュニティ(サークル)みたいなものをいっどこでやっているかの情報発信を分かりやすく掲示してほしい。そういう活動があるのを知らなかったのも、1人で探し方など悩んでいた。
7				デイサービスに申し込みまでの手続きが長過ぎる。仕事もしている上に子どもの事にもっていきまでに手間がかかりすぎている。
7	(身体)			学校をバリアフリー化して欲しい。(〇〇小)サポートの先生を増やしてほしい。すぐにでも。中・軽度の障害者にもっと目を向けてください。特に子供。少しサポートしてくれれば健常者と同じように働け(動け)ます。
11	(身体) (難病)			くるりんバスのルート編成で、不便になったので、もう一度見直してほしい。
12	(精神) (発達)			一般の子が行く習い事の教室ではついていけないので、それをデイサービスで補うか、障害児対象のスポーツ、図工教室などがあれば助かります。
15	(発達)	医		障害福祉サービスの利用の仕方がわかりません。もっと案内が欲しいと感じます。
16	(身体) (難病)			就職先がほとんどないため、その紹介や就職枠の確保。
20	(身体)			県道でも歩行者用のボタン付きの信号を作って、安全に渡れるようにしてほしい。
22				事業所の取り組みももっと知ってもらえたら良いのではと思います。パン美味しいです。この様な場所が増えるといいなと思います。
22	(発達)			くるりんバスが使えなくなって困っています。
23				サービス充実しているスタッフの待遇の向上(給与、休暇)

24	(高脳)	医	障害を障碍に変更しましょう。成年後見制度を利用すると、愛知県や名古屋市の知的障害者の採用を受ける資格がなくなる。これは行政による差別。日進市にも就労場所があると良いと思います。
26	(精神)	医	書類や手続きがややこしく多い。とても1人ではできません。手帳の更新の間隔が短いです。生きている限り治るものではないので、もう少し間隔を開けるか、発達障害の手帳つくるかしていただきたいです。
27			障害者の方とご家族にしかわからない悩みがたくさんあると思うので、同じ障害を持っていらっしゃる方々やその家族同士で交流できる機会があったらなあと思います。
31			市役所と保健センターが分かれていますととても不便に思う。日進駅のエレベーターも奥ぼっていて車いすの方が利用しにくいのでは、街灯も少なく車いすの方だけでなく一般市民の事もあまり考えられていないと思います。
31	(精神)	医	以前市役所の方に「障害者は何もできない人」と言われたことがあり、障害者に対する考え方の低さに驚いた。「何もできない人」ではなく、「何かを行う際に障害があったり、何か特定の物事ができない」の間違いではないか、とても気になった。それ以降正直、行政に相談できなくなった。たとえ「障害」でなくても「持病」がある人たちも含め少しは考え方、言い方を考えてほしい。
31			福祉サービスの充実化は重要だと思いますが、働き盛りの世代や子育て世代のサービスの充実化も検討をお願いします。
33			親族が障害者施設、老人福祉施設で働いていますが、勤務内容に見合った収入を得られていないように思います。十分なサポートのためには労働する側のケアも必要ではないかと思えます
34	(精神)	医	本アンケート中に出てきた、多様な支援のボランティア活動に謝金などが支払われるべきであると思う。ボランティア精神に頼るだけだと、システムとして機能しなくなる時が来ると思う。
35			いつも広報でお知らせ等あったと思いますが、正直あまり見ていませんでした。こういう活動していますというレポートより、こういうことをしてほしい、ボランティア募集しているなど、要望を教えてくださいの方が見るかもしれません。その方が、関係ないから読み飛ばそうじゃなく、自分も伝えることがあるのだと関心を持つかと思った。(もし既に活動されていたら申し訳ありません)
37	(身体) (難病)		障害者手帳2級で、いろいろな福祉用具を買いたい場合や家をバリアフリーにする時、負担額が少し大きくて厳しいなと思います。
37	(精神)	医	結婚をトップに管理してほしい。天災の事故、日常の事故を止めるのを素晴らしくしてほしい。犯罪者化(障害者自身の)を止めてほしい。以上取り組んでください。よろしく願いいたします。
38			どのように取り組みされているのか知りません。関心ある人しか知り得ない宣伝だとよくなることはないと思います。

39	(精神)	医		無料でピアノ等を教えてくれる人の紹介。あまり障害者障害者という言葉は何度も使って欲しくなかった。
44	(精神)	医		補助や助成が毎年減額やサービスの劣化が見られるので、きちんと財源確保していただきたい。
45	(身体)			障害給付を減らさないでほしい。
46				障害者と障害者の家族が、しあわせな毎日が日々送れる様支援をお願い致します。豊田市にある会社では障害者を積極的に受け入れているイキイキ働いている所を聞いたことがあります。ご参考までに。
46				サービスを受けるための手続きが難しく依頼先もバラバラなので介護している人には負担となる。サービスの受付窓口を一元化する等、手続きの簡易化が望まれる。また、老々相続も考えられるので、マイナンバーをフルに活用して手続きの簡易化をはかってほしい。
46	(身体)			日進市には現在100人以上の聴覚障害者がいると聞いたことがあります。もっと若い人から年配の方までどんどん地域の福祉活動に参加してほしい。
46				日進市図書館のゆったりカフェでは、障害のある方が働かれています、よく利用させていただいていますが、雰囲気がとても良く、いつもゆったりと幸せな気持ちになります。スタッフの方の温かい様子や真面目で一生懸命な接客も嬉しいです。一般の飲食店よりも、感じがよいですね。
47	(身体)	医		いつもありがとうございます。助けていただいております。
48	(精神)			親がいなくなると不安です。
50				障害のある方の社会参加を積極的に支援していただきたいと思えます。自立できるようなもの、1人でも生活できる能力を身につけられる支援があるとよいと思えます。
50	(身体)			地域や企業で働く障害者への理解啓蒙やより働きやすい環境整備を。また、ジョブコーチを増やして、発達障害の方が働きやすく、自分の個性や、能力を生かせるように支援してほしい。
51	(身体)	医	介	タクシーチケットをプリペイドカードのようにしてほしいです。車がないと外出は無理ですが、基本料金では、あまり足しにならないへき地に暮らしているので、結局外出を諦めます。
51	(身体) (精神) (高脳)			なぜ生活保護を受けていると、障害者年金が引かれるのか疑問。
52				はっきり申し上げて、道の駅を作る予算があるなら福祉サービスの向上にもっと力を入れ、予算使っていただきたい。
53	(精神)			福祉サービスや支援センターなどPM5時過ぎ6時ごろまでぐらいで終わってしまうためもっと遅い時間まで対応できればやってもらいたい。自分の担当者を1人ではなくせめて2人ぐらいでやってもらうと待つ時間を少なくすることや予定を決めるのに早く決めることができるので多くしてほしい。

53				身の回りに障害を持つ人が現在おらず、あまり詳しいことは知りませんが、まだまだ試行錯誤の途中とは思いますが、最近ではずいぶん配慮されてきている様子が伺えます。障害を持つ人も持たない人も同じように充実した日々を送ることができる住みやすいやさしい街、日進をますます目指していただきたいです。
54	(精神)			障害がある人の就労の場がほしい。少しでも金銭面が楽になりたい！
54	(身体)	医	介	土日関係なく現場に出てください。
54				自分に関係がないと障害福祉サービス等にもわからないことだらけで、行政の取り組みなども広報などに掲載されていても目を通すこともないので、これからはしっかり読みたいと思いました。
55	(精神)	医		精神障害を抱えて就労したことがあるが、ものすごいじめにあつた。受け入れ会社側の社員教育を徹底してもらいたい。
55	(精神) (難病)	医		話せる方がほしいと前記しましたが、専門知識、カウンセリングスキル、人生、経験豊富と、そういった相談員の方がいらっしゃると助かります。なおこのようなアンケートは精神的に負担です。
55	(身体) (精神)			愛知県と名古屋市との格差があることに不満を感じる。
60	(身体)	医		サービスや取り組みについてそもそもあまり情報が伝わってこないものであまり分からない。
62				障害のある人が自由に外出できるよう支援して欲しい。どんな人も大切な社会の一員であるということをアピールしてほしい。
62	(身体) (精神)		介	趣味（将棋囲碁）などのボラの方の充実、人材確保などがあると、生活していく上で楽しみが出てくると思います。ボランティアの種類がたくさんあると助かります。
63	(身体) (精神)	医	介	分からない事だらけなので、そのつど電話で聞きます。よろしく願いします。
64				よく整形外科や接骨院へ通院しています。手術をすれば障害者になりますが、何とか自分の力で生活しています。保険が3割負担ですので、痛みが激しい時しか通院しません。毎日通院しているお年寄りをみると羨ましくなります。パートで働いていますが、医療費に大部分がかかり何のために働いているのか?!悲しくなります。
64	(身体)	医		住みよい、暮らしよい、環境よい。市役所の対応よし、全てよし。
64	(身体)			福祉サービスは、現実、「かゆいところに手が届かず」です。
65				もっともっとサービスの充実を望みます。
66				卒業後、自立できるように行政で支援してほしい。
67	(身体)			私は自分で人の手を借りず、生活ができますが、より福祉の充実を望みます。
67	(身体) (精神)		介	よくやってみると思います。困ったとき、相談に乗っていただき、助かりました。
68	(身体)			役所は何事に関しても市役所からは教えてくれない。知らない制度や支援が多すぎる。強制的に集金するがもらえる手当は役所側からは教

				えてくれない。
68	(身体)	医		高齢化社会になるとさらに社会保障に税金を投入しなければならないのは理解できる。国は節税を実施すべき福島原発にいくら税金を投入するのかエネルギー政策原発なんて不要。マイナンバー制度は平成28年1月から開始され今年29年4月現在期待される効果①公平公正な社会の実現(きめ細かな支援の実施)何をどう実践実行しているのか、さっぱり不明「今の行政の取り組み」障害者に対する支援がどう変わったのか?
68	(精神)			〇〇と〇〇のことは知っていますが行政が何をやっているのかよく知りません
69		医		あまりよくわかりません。しかし、身内に他市町村役場に勤めている者がおり、その人たちを見ていると自分たちは高給で楽な生活をしていて、旅行ばかりしています。そんな人たちばかりとは思いませんが、そういう人たちがどこまで障害者の気持ちがわかり、どこまで親身になって取り組んでくれるのか疑問です。
69	(身体)	医	介	調査員との面談に3週間経ちました。ケアマネさんとの面談に4日間待ち。どの業界も人手不足なのでしょうね。本人の病状は日々悪化し家族の不安は日々つのります。申請から許可のタイムラインがスムーズに流れ「待たされる日々」が解消される日を願っています。これから先は全く分かりません、病状が改善される見込みはありません。サービス提供側と受ける側との信頼関係を保てる体制を強く望みます。
70				くるりんバスが大きく変わったが(コース変更・少なくなった)料金が2倍になり老人に対するいじめではないか。
71	(精神)			学校での支援について進言してほしい。忙しさにかまけて何も支援してくれないので両親は困り果て無視されるのでとても不満だ!!
72	(身体) (難病)			元気なお年寄りの活用をもっと活かしていけたらと思う。(ボランティア)
72	(身体)			地域みんなが参加出来るような環境づくりが!!
72				障害福祉に関して知らないことが多く、行政の広報などで、こんなことをしていると知らせてほしいです。障害を持った人は少数です。多数だと、意見が通りやすいのですが少数だと取り上げられることが少ないです。障害者(老人)に優しい日進市であってほしいです。
72	(身体) (精神) (難病)		介	移動する(外出時)手段が心配になる。(単身になった月)住居が不安。
73	(身体) (難病)	医	介	パウチの金額を現在の2ヶ月で¥23,800を¥30,000に上げてもらいたい。できれば¥35,000ぐらいにしてもらいたいけれどそれは無理かと思うのでとりあえず¥30,000。
73	(身体)			ひとりでもっと出かけたいたのですが、カート引いて出かけるのですが、階段が悩みです。エレベーター、エスカレーターがなくても階段の端に小さな(小、中でいいのです)スロープがあると助かるのです

				が、西春の駅で見かけただけです。
73	(身体)		介	①毎年アンケート調査が来るのは無作為に抽出していないのではないかと。②アンケートの必要な方もいると思うが、全障害者に出す必要性はないでしょうか。
73				どのような場合に何処へ行って相談するのか、わかりやすく広報してください。地域にどんなものがあるか、知らないことが多いし、地域包括支援センターは、どこにあるのか知らない。
73	(身体) (難病)	医	介	自分に必要な情報をどこで知るのか分かりませんでした。
74	(身体)			くるりんバスをもっと増やしてほしい。午前2午後2ではどこも行けない。主人が健康なうちはいいが1人になると買い物いけない。市役所止まりではなく直接行けるところがよい。あまりにも無駄が多い。
74	(身体)	医		日進市の障害福祉サービス行政に対して、がんばってほしいと思います。働いている職員に対しては、感謝と、健康を祈ります。
74		医		行政の取り組みに対して全く知らなくてすみません。日進の市民会館や市役所前でお昼のお弁当なども、障害の人たちの作ったものは、なるべく買うように心がけています。
74	(身体)		介	デイケアのサービスも(介護)でも(支援)でも区別なく利用したい。
74	(身体) (難病)	医	介	くるりんバスの利用をしたいけどバス停が遠すぎると思います。よその市町村の様に手をあげたら乗せて頂けるなど。
75				現状が分からず回答出来ず。
75				日進市はH25 障害福祉サービスや行政の取り組みは障害者手帳持参の方々に1ヶ月1,000円カットしたけしからん。地方自治法第1条に反する又タクシー料金を約820円から650円にしたこれもけしからん
76	(身体)	医		自宅から郵便局、銀行へ行くのにくるりんでは市役所で乗り換えせねばならず、時間がかかりすぎます。くるりんも1時間に1本途中での乗り継ぎが大変です。近くに郵便局銀行があったらと思っています。
76		医	介	今年度よりタクシー補助の金額が少なくなり大変気落ちしています。介護保険のように点数ポイント制にし、障害にあった福祉サービスを望みます。
76		医		すべてが充分すぎると思う、不自由の中に改善があると思う(努力は他へ頼らないことである)と信じている。
77	(身体) (知的)	医		受身的発想ではなく、攻めの発想で対応出来れば。
79	(身体)			障害者用駐車場の件、最近健常者の人が止めている。市役所の場合、?係が現状確認して注意するか。また玄関先でタバコを吸っている人がいる。
79	(身体)	医		主人が介護認定を受け、その後入院いたしました。福祉課の窓口の方に申請の仕方、提出の書類もたくさんあり、その都度、丁寧に対応していただきました。また援助が受けられ本当にありがたく感謝しています。

79	(身体) (難病)	医	介	福祉サービスは上を見ればきりが無いのですが、もう少し所得の低いものには安く施設に入所できることを望みます。
80	(身体) (精神)	医		他人に世話にならないように自己責任にて行動する。
80	(身体)	医	介	地下鉄（名古屋市）名鉄をしばしば利用しておりますが優先席が利用できないことがままあります（感じとしては半分くらい）健常者（学生や若者など）が占拠してしまうことがなきよう啓蒙教育を徹底いただくことを希望します。この点について他都市と比べると名古屋が1番遅れているように感じます。日進市であっても無関係なことではないと思います。
80	(身体)	医		市役所の方も大変だと思っています。
81	(身体)			市役所の対応について。わたしも身体障害者手帳を貰っているものですが市役所の対応についていつも感心しています。〇〇から越して来て〇年経ちましたが、いつも手際よくテキパキとこちらの云うことを理解して下さり、感心しています。ありがとうございます。
81	(身体)		介	タクシー券なぜなくなった。
82	(身体)			週一回木曜日のゴミ収集は大変ありがたく感謝しています。
82	(身体)		介	車いす、電動ベッドなどもっと簡単に借りられるようになってほしい。介助する家族がもっと楽になるサービスを充実させてほしい。
82	(身体)	医		くるりんバスが使い勝手が悪い。運転ボランティアによる軒先まで来てくれる自動車の運行。
83	(身体)	医		日進市は非常によくやってもらっていると思います。
83	(身体)	医	介	一人暮らしの支援を充実してほしい。実際に脳梗塞で倒れて、老人ホームに入居するときとか、金銭のこととか、やる人がいなくて困った。成年後見人はあるけれど、本人が急に倒れたら何もできない。（手続きとか）
84	(身体)	医	介	障害者支援給付金の減額反対（増額して欲しい）本年度減額された（元に戻してほしい）。
84		医		現在障害福祉等々、行政の取り組みがとってもよく行き届いていて感謝しております。私もその時がくるでしょうからその節にはよろしくお願い申し上げます。
84	(身体)			80歳のときに自動車運転免許を返納して以来、くるりんバスを利用していますが、時間が思うようにならない時が多いために、自転車を使っていますが、歩道との段差をもっと滑らかにしてほしいです。階段の強いところで何度となく転倒しております。生活道路にもっと歩道帯（グリーン）を作ってほしいと思っております。車の近道（抜け道）となっているところは危険でなりません。できることなら歩道帯の幅をもっと広くしてもらいたいです。車のスピード規制もたくさん標示して欲しい。先を急いで爆走する車が多い。歩道を広く車道を狭くしたら少しは爆走もなくなるのではないかと思います。

85		医		いろいろなアンケートがあるがアンケートに対する実効性がないことが多い。結局、財政面で厳しいとの結論で終わってしまうことが多い。市長をはじめ関係職員が日常真剣に取り組んでいれば、判る筈であり、費用の無駄だと思います。
85	(身体)			監査、指導等は形式的に終わらないよう、相当な人物によって行うこと。表面的な評価ばかりで、結局は、隠れた問題に目が届いていない。事件が起きて、表面化して漸く、対策が取られる程度で、人間軽視が、甚だしい。いわゆる先進国福祉国家から学ぶべき事は多い。
85	(身体) (高脳)		介	特にありません。
87		医		87歳にもなって感謝しています。
88	(身体)		介	①サービスを受ける時の文章をもっと簡単にすべきである無意味なものがある ②医療補助を増額してほしい ③要支援要介護の判定に問題がある。
88	(身体)		介	高齢者に対する自動車免許の返納が社会問題となっていますが、仮に返納した場合公共交通機関の乏しい地方都市において、ただちに、生活に支障を(通院や買い物など)期す事は明らかであり、これが対応について多くの高齢者は思い悩んでいるものと思われます。
90	(身体)			先日市役所の福祉課で認知症の傾向のある母の介護認定について相談に行きましたが対応して下さった若い男性は今申請しても二度手間になるから必要になったら来てくださいと言われました。介護関連の仕事に従事している知人友人らはみんな早く申請した方が良いというのに?でした。またその後再び相談に行った時は若い女性でしたが話は聞いてくれましたが何のアドバイスもなく時間を無駄にしたような気がしました。若いからかなとも思いましたが、窓口はもう少し相手の身になって対応してほしいと思いました。
90	(身体)	医	介	経済的な負担の軽減の拡大の実行実施
94	(身体)		介	視力がほとんどありません。現在有料老人ホームに入所しケアを受けています。施設の方々は本当によくして下さいます。目が見えないので食事がヘタになっており、おかずが何か分からないから手を付けない、食べるのに時間がかかるからめんどくさくなって食べない、という感じになっています。食欲はあるのに、食事を取ろうとしない、という毎日になっています。家族もスタッフもお手上げです。視力無い人に対してどのような対応すれば上手に生活できるか、食事がとれるようになるか、専門的なアドバイスを老人ホームにもしてもらえると嬉しいです。
?	(精神)	医	介	この世の無情さに胸が痛みます。介護士の対応が無知に等しい、もっと優しくして頂きたい、勉強不足。
?				スキル
?		医		障害者、末端まで行き渡っていない。このようなアンケートを書いても行政は変わらず、役所・役人の自己満足だけ。本当の声を聞け!

?	(身体)		公民館の活用方法が何かあると思う。人々の集う場になっていない。
?			私は日進市や病院や家族に支えられ、一日一日感謝の気持ちでありがたく生活しています。ありがとうございます。
?			施設へ再入所できないそうです。そこが問題になっていると。もし、機会があれば、ぜひNPOの方の話も聞いていただき、そのなかでもし、行政として、なにかできることがあれば、実現していただけたらありがたいと思います。

以上



福祉に関するアンケート調査報告書
【02 一般用】

平成 29 年

【発行】日進市

〒470-0192 日進市蟹甲町池下 268 番地

○健康福祉部 介護福祉課

電話：0561-73-1749 ファクス：0561-72-4554

メール：kaigofukushi@city.nisshin.lg.jp

○こども福祉部 こども課

電話：0561-73-4182 ファクス：0561-72-4603

メール：kodomo@city.nisshin.lg.jp

【制作】椋山女学園大学 人間関係学部人間関係学科 手嶋雅史